

上田市文化財調査報告書 第69集

西 之 手 遺 跡 Ⅱ

市道西野竹14号線代替地取得事業に係る
西之手遺跡第2次発掘調査報告書

1998.3

上 田 市 教 育 委 員 会
上 田 市 土 地 開 発 公 社

上田市文化財調査報告書 第69集

西 之 手 遺 跡 II

市道西野竹14号線代替地取得事業に係る
西之手遺跡第2次発掘調査報告書

1998.3

上田市教育委員会
上田市土地開発公社

序

上田市街地の東方に広がる染屋台（神科台）は、上信越自動車道の開通と上田菅平 I C の設置にともない、上田市の新しい玄関口となり大きく変貌しつつあります。

この地域には条里的遺構が広範に残存していることが以前から知られており、昭和 47 年度から開始された条里遺構調査では水系、地質、地名などさまざまな分野から学際的な調査が行われました。この調査の過程で、大字古里字東之手地籍と同西之手地籍を中心に創置の信濃国府が存在していた可能性が提起され、昭和 57 年度から 5 か年にわたって確認調査が実施されました。調査の結果、残念ながら国府跡の所在は確認できませんでしたが、古墳時代の集落跡が点在していることが明らかとなりました。

西之手遺跡は、昭和 61 年度の確認調査でその一部が調査されましたが、平成 8 年度から開始された第 1 次調査では、掘立柱建物群と大規模な溝で構成された特異な集落遺跡であることが明らかとなりました。今回の第 2 次調査で検出された遺構は僅かでしたが、遺跡の範囲と縁辺部の様相を解明し、第 1 次調査の内容を補完するうえで重要な成果を得ることができました。

最後になりましたが、発掘調査から報告書刊行にいたるまでの間、御理解と御協力を賜りました関係諸機関と作業員の皆様に衷心より御礼を申し上げます。

平成 10 年 3 月 31 日

上田市教育委員会教育長 我妻忠夫

例 言

- 1 本書は、長野県上田市大字古里字西之手における、市道西野竹 14 号線代替地取得事業に係る西之手遺跡第 2 次発掘調査報告書である。
- 2 調査は、上田市土地開発公社から委託を受けた上田市が直営で行い、調査に要した費用の一切は上田市土地開発公社が負担した。なお、調査及び調査に係る事務は、上田市教育委員会事務局文化課が担当した。
- 3 現地調査は、1997 年 5 月 28 日から同年 7 月 4 日まで実施し、引き続き 1998 年 3 月 31 日まで整理・報告書作成作業を行った。
- 4 遺構の実測は、清水彰・饗場奈那江・石合好江・斉藤かな枝・田村まり子が行った。
- 5 遺物の洗浄・注記・接合・実測・トレース・版組は、塩崎幸夫・清水の指示により、饗場・石合・斉藤・田村・丸田由紀子・大井敬子・井沢光子・山本万里・小柳治雄・林正治・池田市郎・井部定雄が行った。
- 6 遺構・遺物写真の撮影は、塩崎が行った。
- 7 現地調査の基準点測量・メッシュ杭打・全体空中写真測量・図化を㈱こうそくに委託して実施した。
- 8 本調査に係る資料は、上田市立信濃国分寺資料館に保管してある。
- 9 本書の編集・刊行は、文化課が行った。

- 10 本調査の体制は次のとおりである。

教 育 長 我妻 忠夫

教 育 次 長 宮下 明彦

文 化 課 長 川上 元

文 化 財 係 長 岡田 洋一

主 査 中沢 徳士・尾見 智志

主 任 塩崎 幸夫 (担当者)・久保田 敦子

技 術 員 久保田 浩

主 事 西沢 和浩・清水 彰 (担当者)・小笠原 正

嘱 託 望月 貴弘・古野 明子・松野 ひろみ

11 調査に参加・協力していただいた方々（順不同・敬称略）


竹内 和好	児玉 和衛	井部 定雄	小柳 治雄	池田 市郎
横沢 昇	横沢 生枝	東山 唯夫	東山 恒子	林 正治
田中 正美	内山 重利	村田 宣子	饗場奈那江	石合 好江
山本 万里	斉藤かな枝	田村まり子	大井 敬子	井沢 光子
丸田由紀子				

凡 例

遺 構

- 1 遺構は、() 内に示す略号で表し、続く番号は任意である。
掘立柱建物跡 (ST-)・溝跡 (SD-)・土壇 (SK-)・ピット (P-)・掘立柱建物跡 (P)
- 2 遺構実測図は原図 1 : 20・縮小 1 : 3 とし、方位は図中に示した。なお、水系レベルの数值は、海拔高を示す。
- 3 土層断面の観察は、主体となる土を『新版標準土色帖』(農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修 1988 及び 1990) を用いて判別した。
- 4 SK-・P-・P の規模は、(長軸×短軸×検出面からの深さ) で示した。
- 5 海拔高の単位は、全て「m」である。
- 6 遺構写真の縮小は任意である。

遺 物

- 1 遺物実測図は、原図 1 : 1・縮小 1 : 3 とした。
- 2 土器の実測方法は、右 1 / 2 に断面・内面、左 1 / 2 に外面を記録する 4 分割法を原則とし、必要に応じてその率を変えた。
- 3 遺物実測図中の  は黒色処理を示す。
- 4 出土遺物一覧表中の法量は、上から口径・残高・底径あるいは裾径を示す。同表中の器質は、胎土を「胎」、焼成を「焼」、色調を「色」とした。なお、色調は、遺物の内面及び外面の基本的な色調を『新版標準土色帖』(前出) を用いて判別した。
- 5 遺物写真の縮小は任意である。

目 次

序
例 言
凡 例
目 次

第一章	序 説	1
	第1節 調査の経過	1
	第2節 調査の方法	1
	第3節 調査日誌	2
第二章	環 境	3
	第1節 自然的環境	3
	第2節 歴史的環境	3
	第3節 遺跡の基本層序	6
第三章	調査の結果	9
	第1節 概 要	9
	第2節 遺構実測図	10
	遺構観察表	25
	第3節 遺物実測図	30
	遺物観察表	34

報告書抄録

写真図版

第一章 序 説

第1節 調査の経過

平成5年4月、長野県上田建設事務所（以下、「上田建設事務所」という。）から上田市教育委員会事務局社会教育課（以下、「社会教育課」という。）に、上田市大字古里字西之手地区に上信越道に係る代替地造成の計画があるため、埋蔵文化財の有無について問い合わせがあった。

社会教育課では、遺跡分布図・埋蔵文化財調査報告書を確認すると、当該地は「染屋台条里水田跡遺跡」の範囲内に該当していた。このため、試掘調査を実施したところ、古墳時代の遺物と遺構の落ち込みが確認された。これにより、上田建設事務所と社会教育課で遺跡の保護について協議を行ったが、事業計画が具体化した時点で再協議することとなった。

平成8年11月、この土地を上田市土地開発公社（以下、「土地開発公社」という。）が取得し、市道西野竹14号線代替地として造成する計画が具体化したため、社会教育課と土地開発公社で遺跡の保護について協議を実施し、工事着手前に、事業地内にひろがる遺跡約3,150㎡について発掘調査を実施、記録保存を図ることとなった。

このため、上田市教育委員会事務局文化課（機構改革により平成9年度から新設）では、平成9年5月26日から7月4日にかけて現地調査を実施した。その後、整理作業を行い、平成10年3月31日までに本報告書を刊行し、すべての調査を終了した。

第2節 調査の方法

本遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である「染屋台条里水田跡遺跡」の範囲内に存在するが、この包蔵地は、範囲が広い場所の特定が難しい。また、平成8年10月より、本遺跡西側隣接地で発掘調査が実施（西之手遺跡発掘調査 報告書は平成10年度刊行予定）されていたため、本遺跡の発掘調査は西之手遺跡第2次発掘調査とした。これに伴い、Ni-Shi-No-Teの「NT」と第2次発掘調査を表すローマ数字「II」を組み合わせた「NTII」を本遺跡の略記号として用いた。

調査区域の設定は、事業地内の試掘調査によって判明した遺跡の範囲とした。調査にあたっては、バックホーにより表土を除去し、その後遺構検出・堀上作業を人力により行っ

た。調査区域内には、3 m×3 mのメッシュを設定し、遺構の測量・遺物の取り上げ等に利用した。メッシュの設定方法は、基準点0を設定し、その点から国家座標にのるよう設定した。その際、東西南北にそれぞれ記号（EWSN）をあたえ、基準点からの距離を組み合わせて使用した。ここで使用した基準点0の座標は、X = +441000.000、Y = -19050.000（第Ⅷ量系）である。なお、このメッシュは、前出の西之手遺跡発掘調査と同一のものである。

遺構測量は、このメッシュを利用した簡易遣り方法で行ったほか、全体遺構写真撮影及び図化を(株)こうそくに委託して実施した。

第3節 調査日誌（抄）

平成9年

- 5月28日（水） バックホーによる表土剥作業開始
- 5月30日（金） 遺構検出作業開始
- 6月 5日（木） 遺構堀上作業開始
- 6月11日（水） バックホーによる表土剥作業終了
- 6月19日（木） 基準点測量及びメッシュ設定作業
- 6月25日（水） 遺構測量開始
- 7月 4日（金） 航空写真撮影 機材搬出 現地調査終了

以後、埋蔵文化財整理室において整理作業を実施し、平成10年3月31日までに調査報告書の刊行を行い、すべての調査事業を終了した。

第二章 環境

第1節 自然的環境

染屋台条里水田跡遺跡は、千曲川の第一段丘面にあたる染屋台地に所在する。染屋台地は、上田市域の東方部で、北に虚空蔵山と横山丘陵があり、その麓で東西の長さ約3.5 km、東は、神川に望む段丘崖が東北方からやや西南方向に約3.8 km、西は、染屋段丘崖が西方から東南方向に約3 kmの三側線に囲まれた三角形の地域であり、面積は約5.76 km²である。東辺は神川河床から25～30 m、西辺は上田市街面から15～20 mの高さを持っている台地である。土質は下部が段丘礫層、上部は2～3 mのローム層で第四紀洪積世に形成されたものであり、地質学的には染屋層と呼ばれている。

染屋台地は北辺部が標高580 m、南端部は標高500 m、標高差80 mをはかる。これは模式的な隆起扇状地と呼ばれている。この扇状地は、神川本流或いは支流の浸食を受けていない。その反面、自然流の乏水地域である。また、この台地は地下水位が低く井戸水をえられにくく、田用水は飲料水に適していないといわれている。土質は有効磷酸、マンガンを乏しく酸性の強い強粘土地帯である。

扇状地の微地形的考察では、同心円状に等高線があり、そこに凹凸のあることがわかる。その大半は平行であり、東西方向の流路となっている地点が凹地となっている。そのうち、もっとも大規模なものが新屋堰であり、扇状地上の最高地を貫き大幹線となっている。また染屋堰・岩門堰も等高線を切っている。その他にも小さな凹地がいくつかあり、それらが扇状地面上に変化を与えている。しかし、染屋台のこのような変化は人工による堰の開設後、その浸食によって生じたものと考えられている。

第2節 歴史的環境

染屋台地は、自然流がなかったことからその開発が比較的遅く、当地域からは縄文・弥生時代の遺跡および遺物の知見は比較的少なく、主として弥生時代以降のものが、台地周縁部に知られている。弥生期については発掘調査がされたことがなく表面採集調査によっている。西方の第2段丘面には信州大学繊維学部を中心とする常入遺跡群(57)が存在し、平成8年の調査により弥生時代の集落が確認されている。

古墳時代には、北縁の虚空蔵山麓に新屋古墳群(45)がある。当初は、大字上野字鴻呂館



第1図 周辺遺跡図 (1/20,000)

番号	遺 跡 名	時 代	備 考	番号	遺 跡 名	時 代	備 考
19	八千原遺跡	縄弥平	89年調査	46	塚田塚古墳	古	
20	堂下遺跡	縄～平		47	野竹塚古墳	古	
21	太田・法楽寺遺跡	古～平	95年より調査	48	篠井久保遺跡	弥・平	
25	林之郷遺跡	縄～平	88・89年調査	49	笹井塚古墳	古	
26	日ノ井古墳	古		50	掛の宮遺跡	縄・古	
27	高寺古墳群	古		51	掛の宮塚古墳	古	
28	生地場古墳	古		52	染屋台条里水田跡遺跡	弥～平	
29	中村Ⅱ遺跡	縄		53	向田古墳	古	
30	荒神田遺跡	平		54	国分遺跡群	弥～平	
31	訳口上遺跡	平		55	信濃国分寺跡	奈	国指定史跡
32	中吉田遺跡	縄弥平		56	国分寺周辺遺跡群	縄～平	
33	今井遺跡	平		57	常入遺跡群	縄～平	
34	いなご坂遺跡	縄		58	金井裏遺跡	縄～平	
35	吉田原古墳群	古		83	坂下古墳	古	
40	上野東遺跡	縄		412	岩門城跡	近	
41	陣馬塚古墳	古		440	東之手・西之手遺跡	古～平	
42	玄蕃塚古墳	古		445	柳町遺跡	古	
43	熱泰寺古墳	古		447	宮平遺跡	古～平	
44	熱泰寺遺跡	縄		457	染屋城跡	近	
45	七ツ塚古墳	古	市指定史跡	A	大畑遺跡	中	95年調査

第1表 周辺遺跡名表

及び矢花地籍にかけて20数基あったと伝えられている。現在は鴻呂館地籍に3基残り、矢花地籍には「矢花の七つ塚」と呼ばれているもののうち3基が残存している。塚田地籍の上田市立第五中学校の敷地内にある塚田塚古墳(46)は小規模ながら横穴式石室を残している。また、岩門地籍の社宮寺古墳(51)、向田地籍の向田古墳(53)が存在するが、墳丘のあることのほか、詳しいことはわかっていない。発掘調査例としては、昭和58年から5次にわたって行われた「創置の信濃国府跡推定地確認調査」・平成3年の柳町遺跡(445)が挙げられるが、いずれも遺跡の密度は薄い。

奈良・平安時代になると、土師器・須恵器等の遺物が各所で表面採集されているが、発掘調査例がないため、遺跡の範囲などは明確ではない。また、この台上に信濃国府がおかれたとの説があるが、これを裏付ける調査事例はない。北方の第3段丘面には、信濃国分寺跡(55)がある。昭和37～46年にかけての発掘調査により、僧寺と尼寺が並置して確認された。現在、史跡公園として整備され、市民の憩いの場となっている。

中世以降、当地域は主として水田地帯として発展していった。平成7年に調査された大畑遺跡(A)では、青磁蓮弁文碗の破片と宋銭が出土している。

近年では、上信越自動車道と北陸新幹線の工事とともに、周辺地域の開発が進み、住宅地域としても活用されつつある。

なお、染屋台全域にわたって「条里遺構」が展開しているが、この形成年代等については明確にされていない。

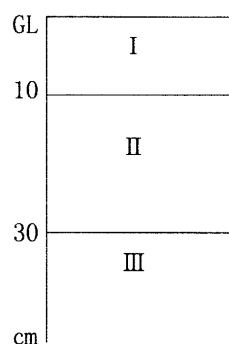
今回、発掘調査を実施した西之手遺跡Ⅱは、染屋台の中央部やや北寄りに位置している。

第3節 遺跡の基本層序

西之手遺跡Ⅱの基本層序は、右に示すとおりである。染屋台はローム層が風化した強粘土地帯であるため、水捌けが非常に悪い。遺構検出面は、GL-60cm前後である。

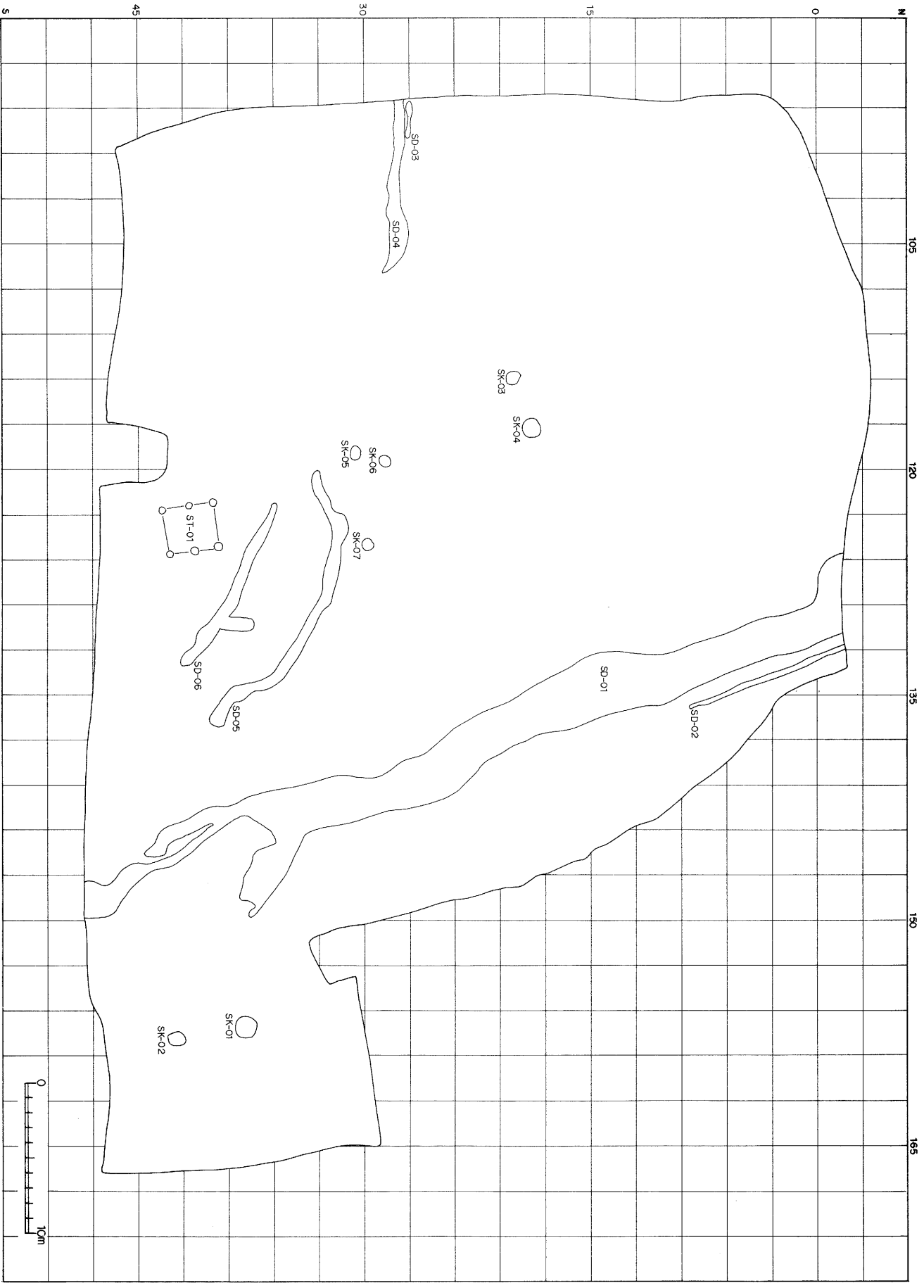
土層凡例

- I 埋 土
- II 5Y3/1 オリーブ黒粘質土
- III 2.5Y6/3 にぶい黄色粘質土





第2図 西之手遺跡Ⅱ位置図 (1/2,500)



第3図 遺構配置図

第三章 調査の結果

第1節 概要

西之手遺跡は、染屋台の中央部やや北寄りに位置しており、昭和57～61年度に実施された創置の信濃国府跡推定地確認調査の際にその一部が調査された。昭和61年度の調査では古墳時代後期の所産と推定される掘立柱建物跡2軒が検出された（上田市教育委員会『創置の信濃国府跡推定地確認調査概報V』1987）が、この地点も含めて平成8年度から平成9年度にかけて13,000㎡の範囲が発掘調査され、約40軒の掘立柱建物跡と大規模な溝跡などが検出された（西之手遺跡第1次発掘調査・報告書は平成10年度刊行予定）。

今回の西之手遺跡第2次発掘調査の調査範囲は、前述した第1次発掘調査区域の東側に隣接した地域で、遺構の分布状況から西之手遺跡の縁辺部に相当するものと思われる。本報告書では第2次調査の結果に限定して概述し、西之手遺跡の全容については第1次調査の報告書で改めて触れることにしたい。

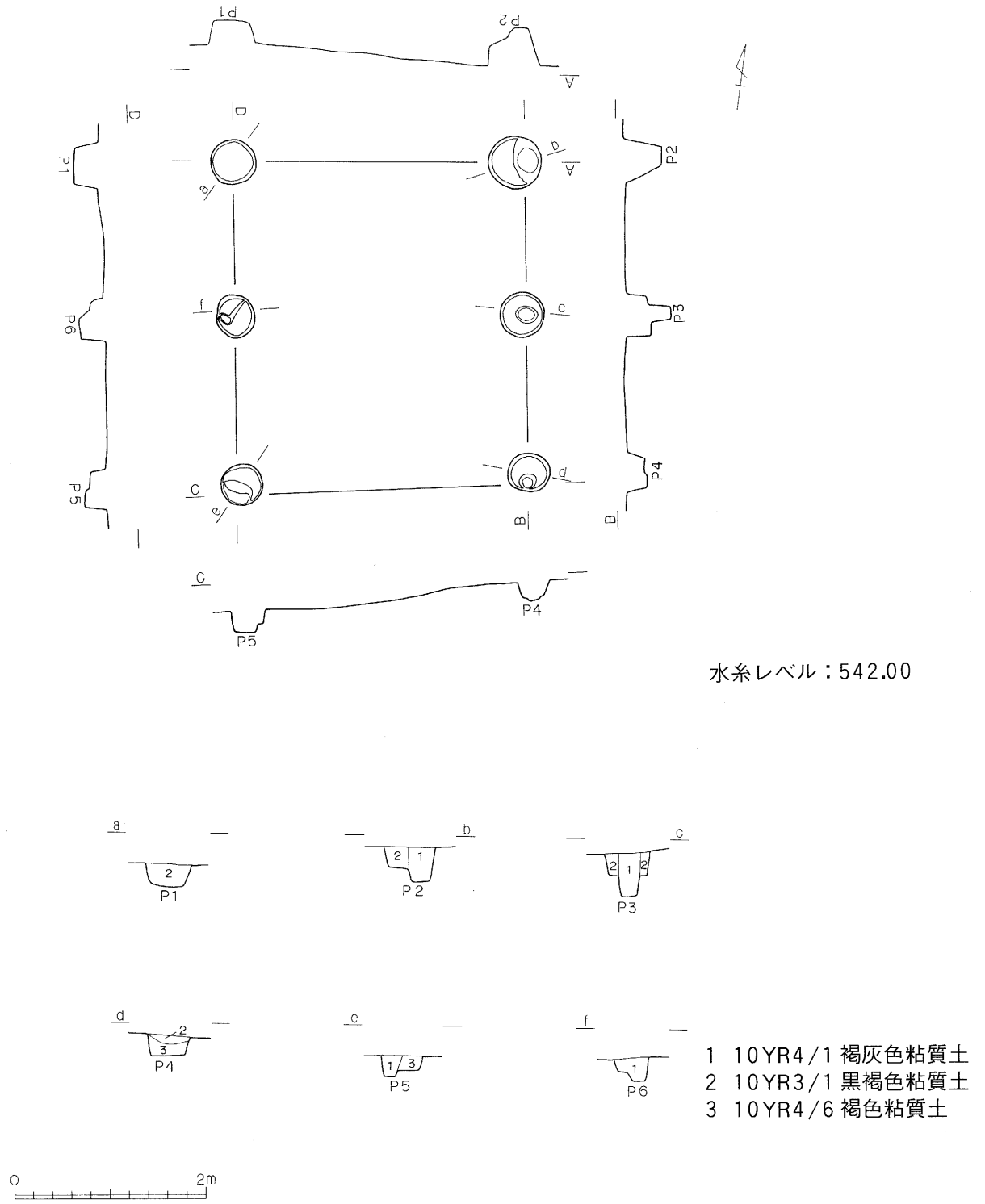
西之手遺跡の第2次発掘調査で検出された遺構は、掘立柱建物跡1軒、溝跡6条、土壇7基、ピット219基である。

第1号掘立柱建物跡は、桁行2間(3.40m)×梁間1間(3.10m)の建物跡である。遺物の出土はなく所産期は不明であるが、第1次調査で検出された掘立柱建物跡に規模、主軸方向等が類似するものがあり、強い関連性が想起される。

第1号溝跡は、調査区中央やや東側を北北西から南南東にかけて縦断して検出された。北半は溝幅約3m、深さ約50cmを測るが、南半では溝幅、深さともに小さくなり、流路も分岐蛇行して一定しなくなる。溝の底面には大小の円礫が多数認められ、覆土の観察所見とあわせて、本遺構の機能時には水流があったことが推定される。遺物の出土は北半の覆土上層で比較的多く、古墳時代後期の所産と推定される土師器の甕、坏、高坏と、須恵器の甕、蓋などが出土した。なお、北方へ続く流路は調査区北端で屈曲し、第1次調査で検出された溝跡と接続する可能性が考慮される。第2号溝跡は、第1号溝跡の東側に沿って約11mの長さで検出された。遺物は古墳時代後期に比定される土師器片が出土しており、第1号溝跡と何らかの関連を有する溝跡と推定される。第3～6号溝跡は、緩やかに蛇行し、プランや溝幅は一定しない。古墳時代後期に比定される土師器片が出土しているものの、一連の自然遺構と推定される。

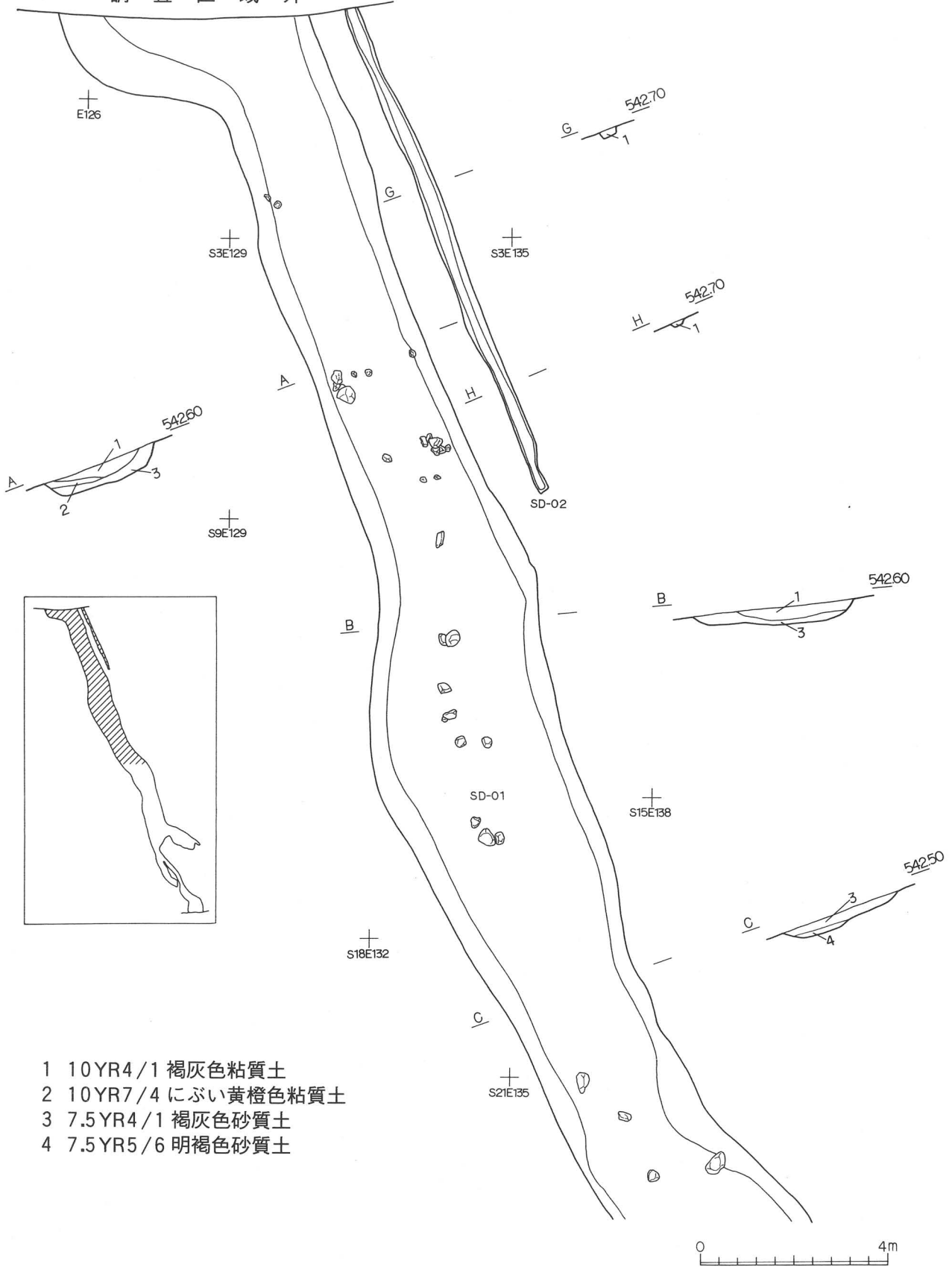
土壇は7基、ピットは219基検出された。平面形は円形ないし略円形を呈するものが大部分を占めるが、配置や規模に規格性は乏しく、個々の遺構の性格は不明である。遺物は、古墳時代後期の所産と推定される土師器片や須恵器片が出土している。

第2節 遺構実測図



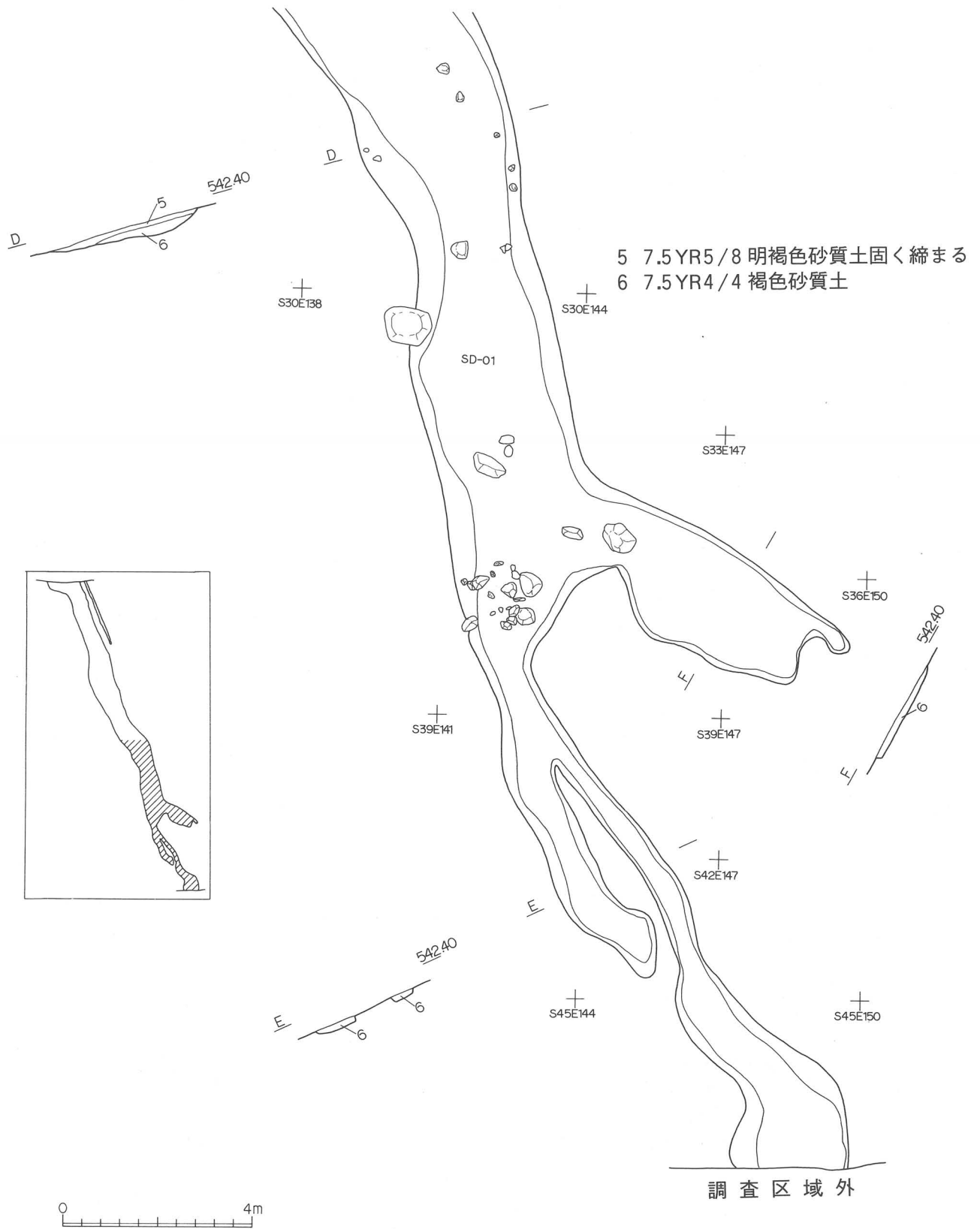
第4図 第1号掘立柱建物跡実測図

調査区域外

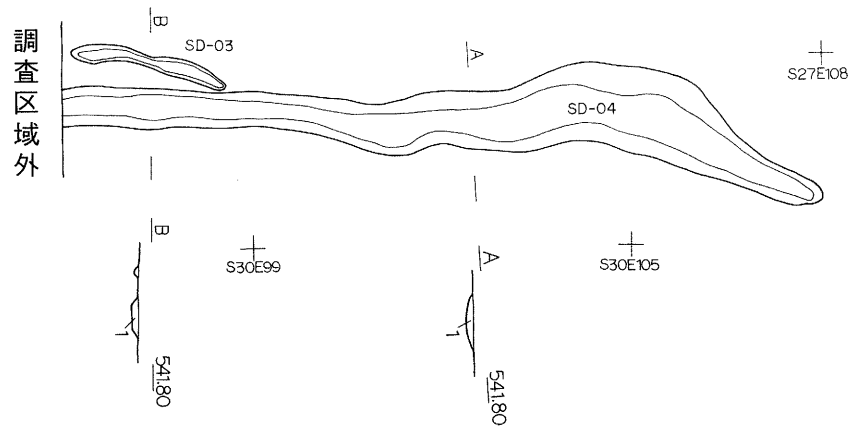


- 1 10YR4/1 褐灰色粘質土
- 2 10YR7/4 にぶい黄橙色粘質土
- 3 7.5YR4/1 褐灰色砂質土
- 4 7.5YR5/6 明褐色砂質土

第5図 第1・2号溝跡実測図

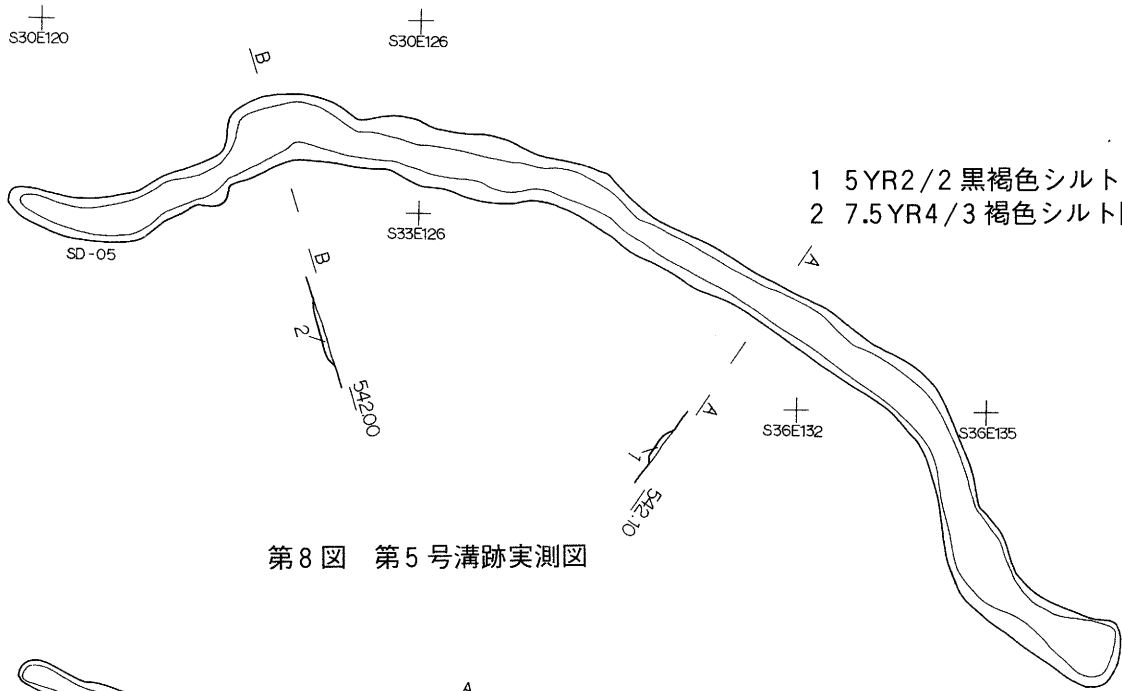


第6図 第1号溝跡実測図



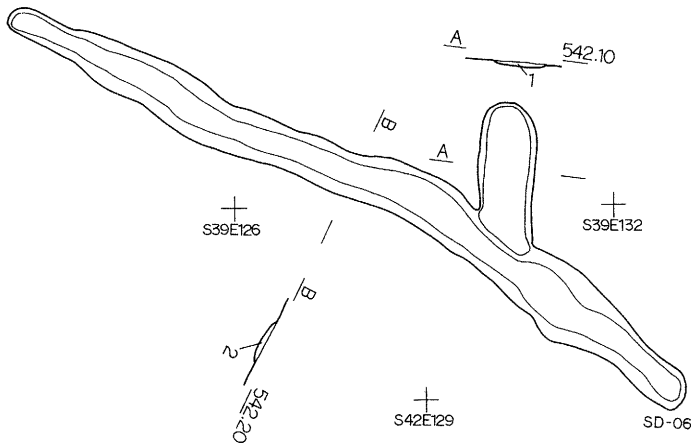
第7図 第3・4号溝跡実測図

1 7.5YR4/3 褐色シルト



第8図 第5号溝跡実測図

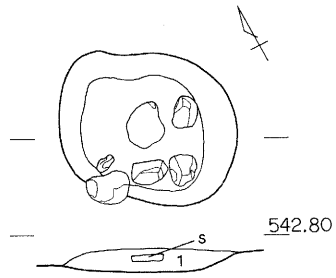
- 1 5YR2/2 黒褐色シルト固く締まる
- 2 7.5YR4/3 褐色シルト固く締まる



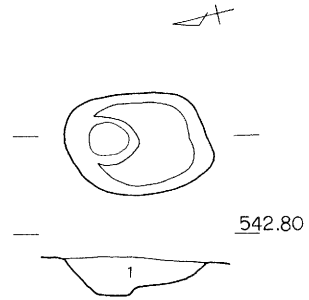
第9図 第6号溝跡実測図

- 1 7.5YR2/4 暗褐色シルト固く締まる
- 2 7.5YR4/2 灰褐色シルト

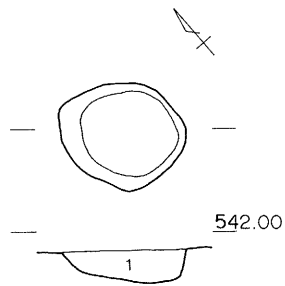




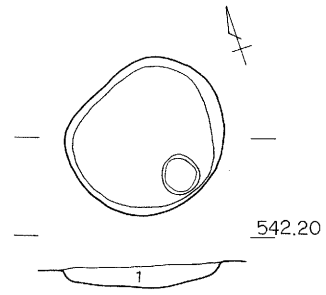
SK-01
1 7.5YR4/1 褐灰色粘質土



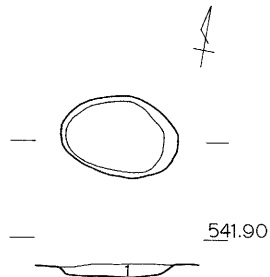
SK-02
1 7.5YR3/3 暗褐色シルト



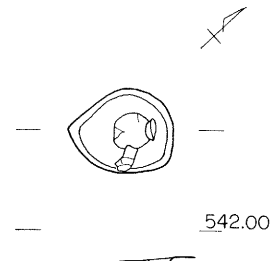
SK-03
1 7.5YR3/1 黒褐色シルト



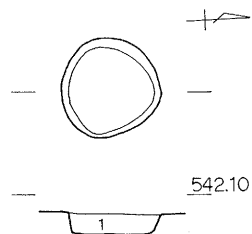
SK-04
1 7.5YR3/1 黒褐色シルト



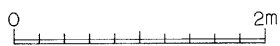
SK-05
1 7.5YR3/1 黒褐色シルト



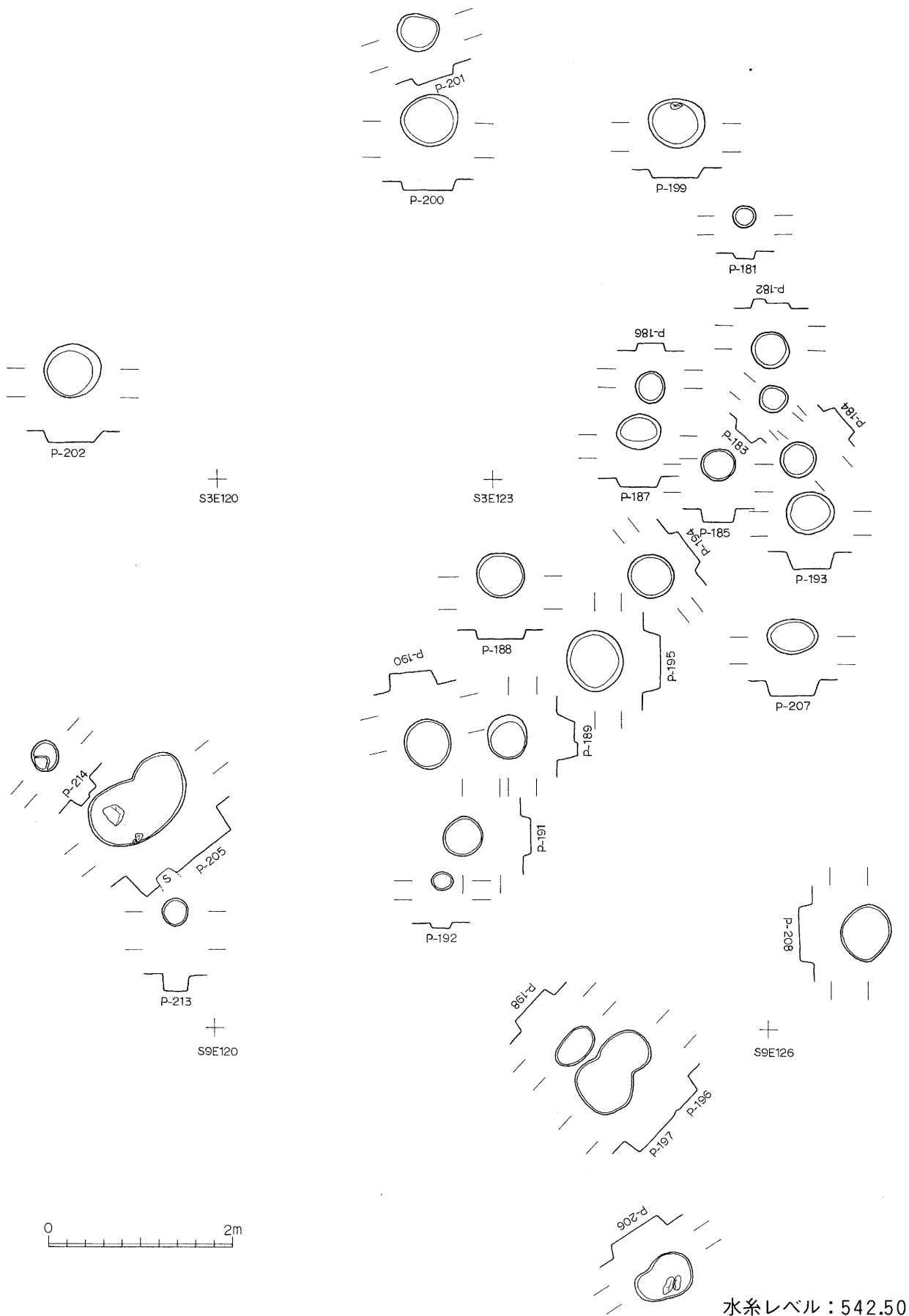
SK-06
1 7.5YR3/1 黒褐色粘質土



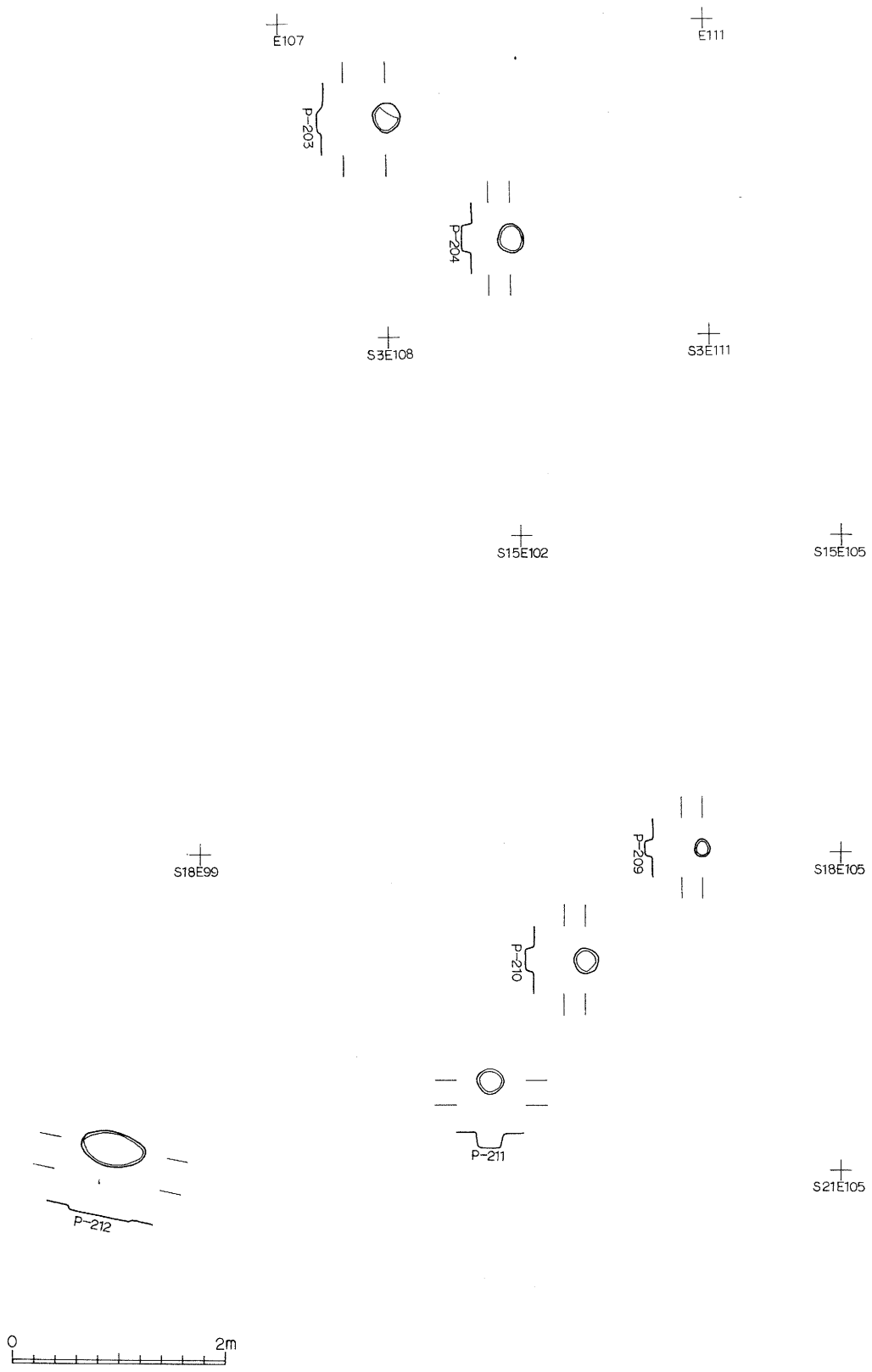
SK-07 1 7.5YR3/1 黒褐色シルト



第10図 土壌実測図

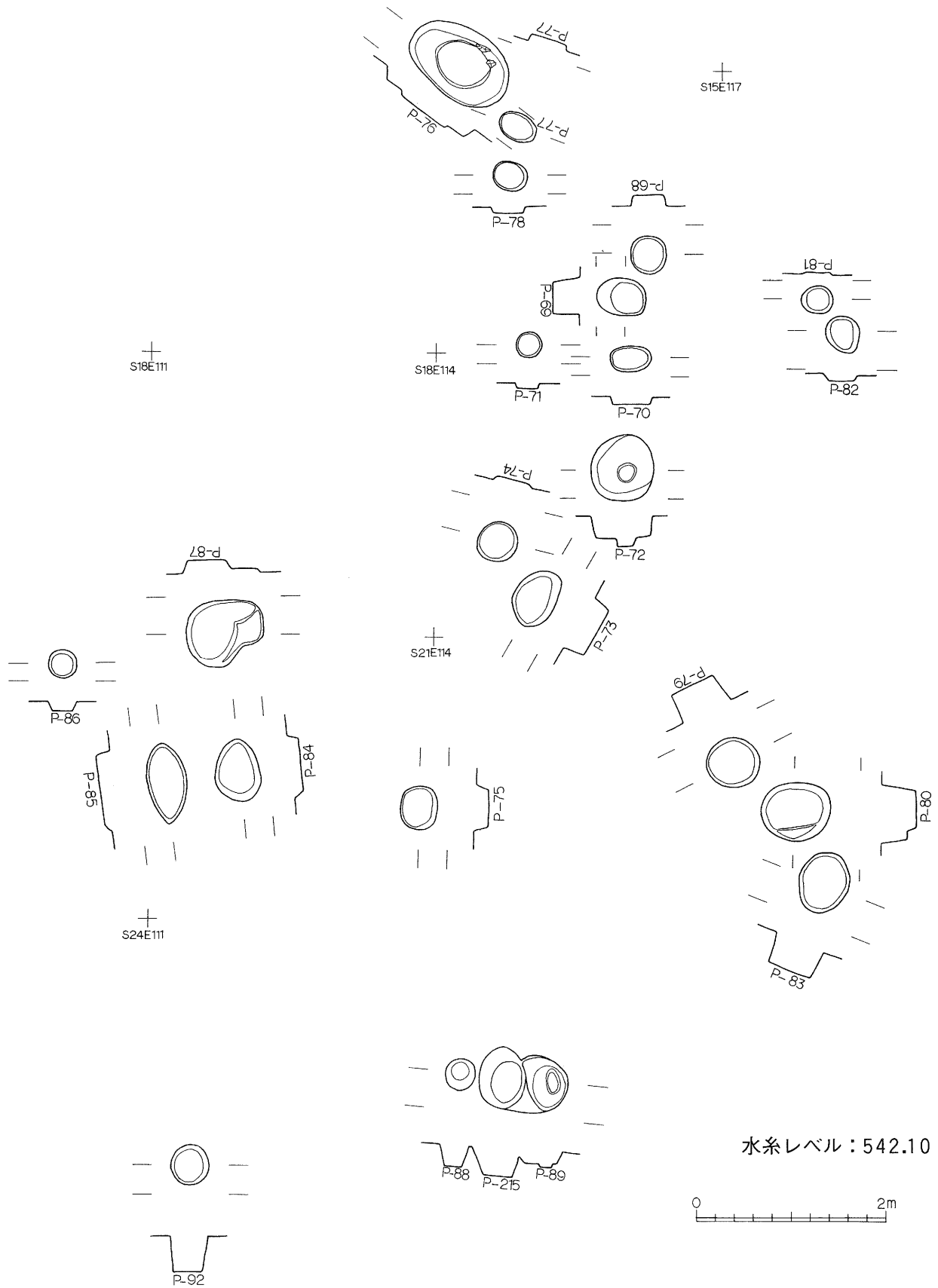


第11図 ピット実測図(1)

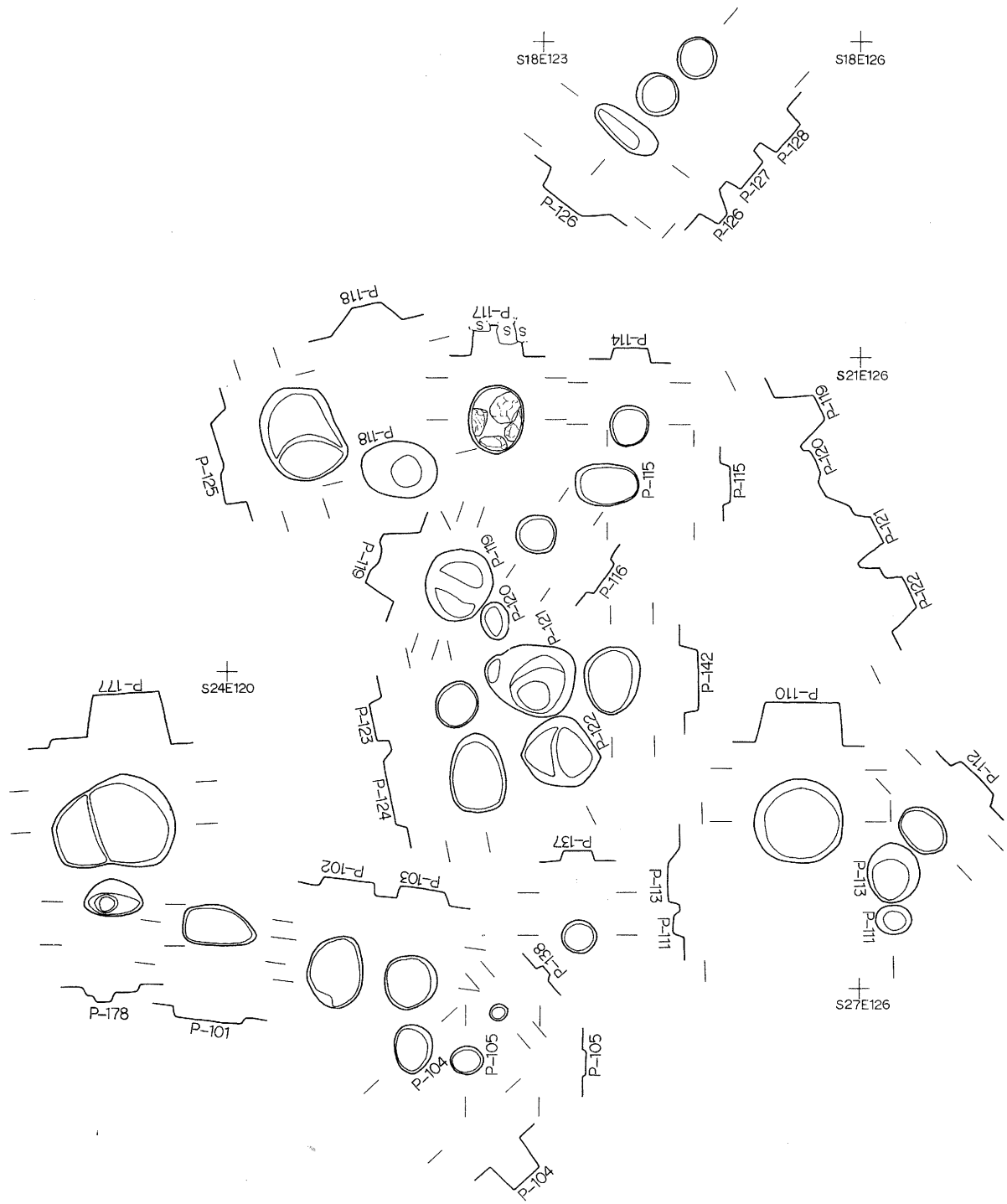


水系レベル：542.10

第12図 ピット実測図(2)

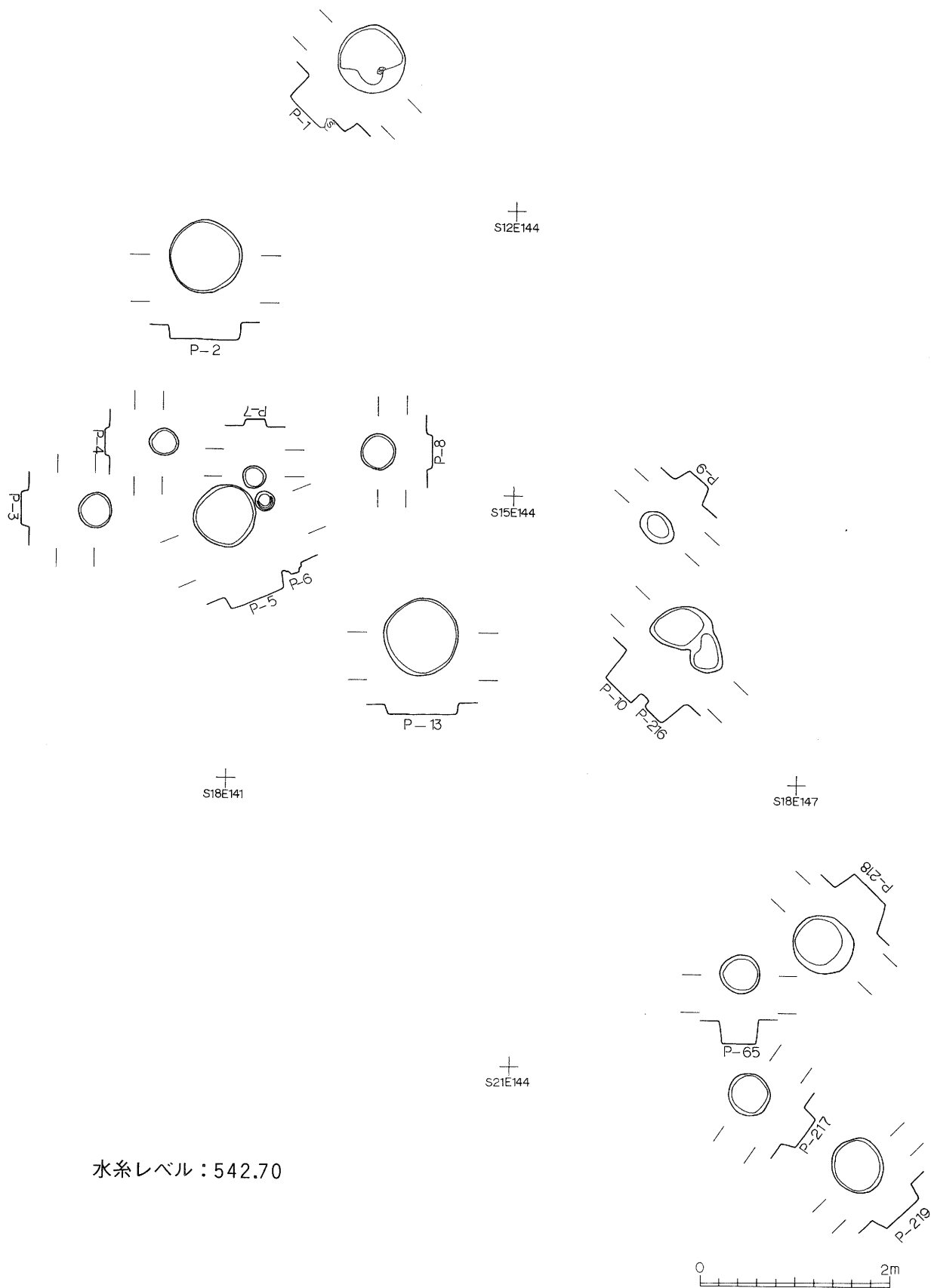


第13図 ピット実測図 (3)



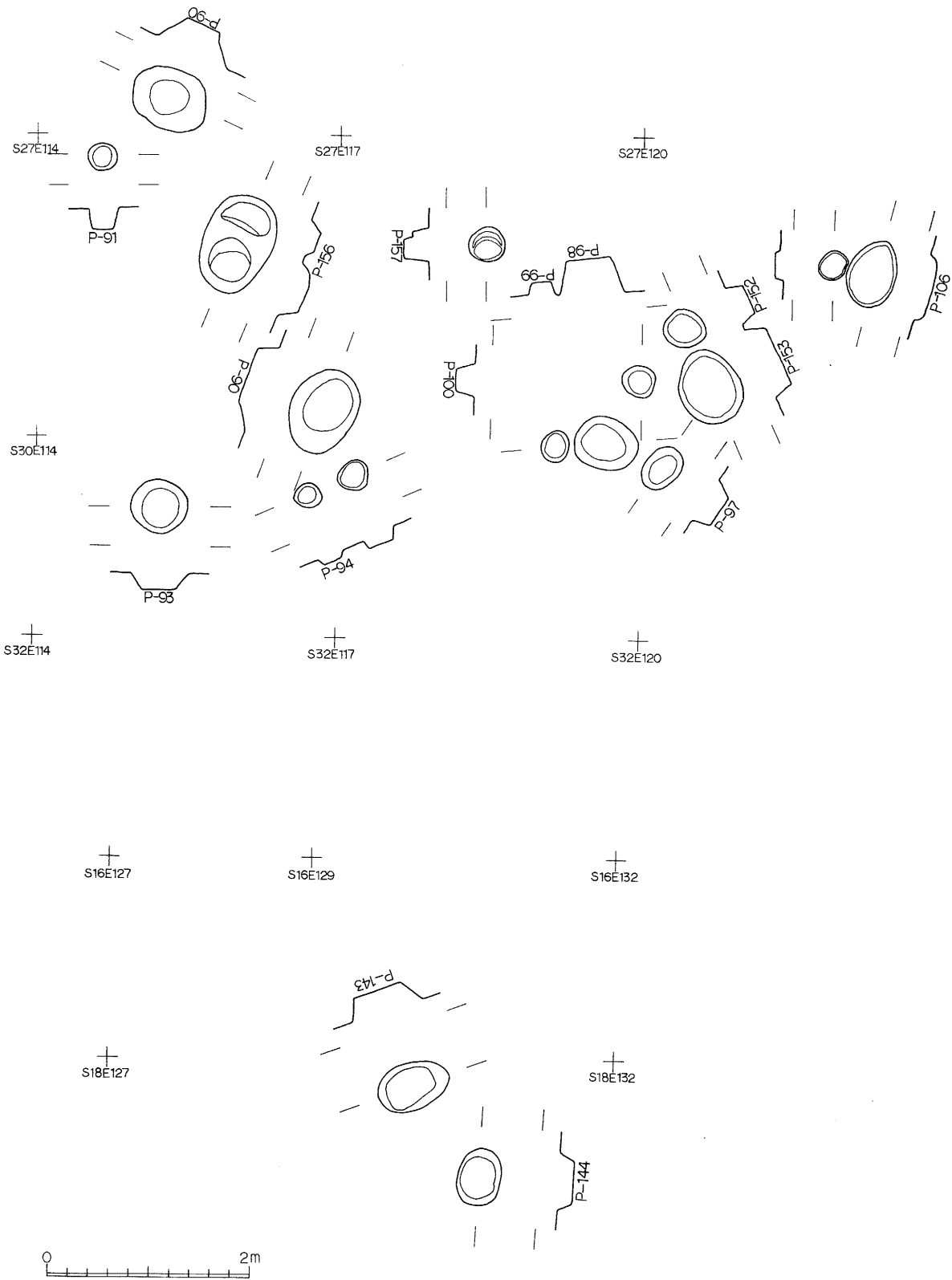
水系レベル：542.20

第14図 ピット実測図(4)



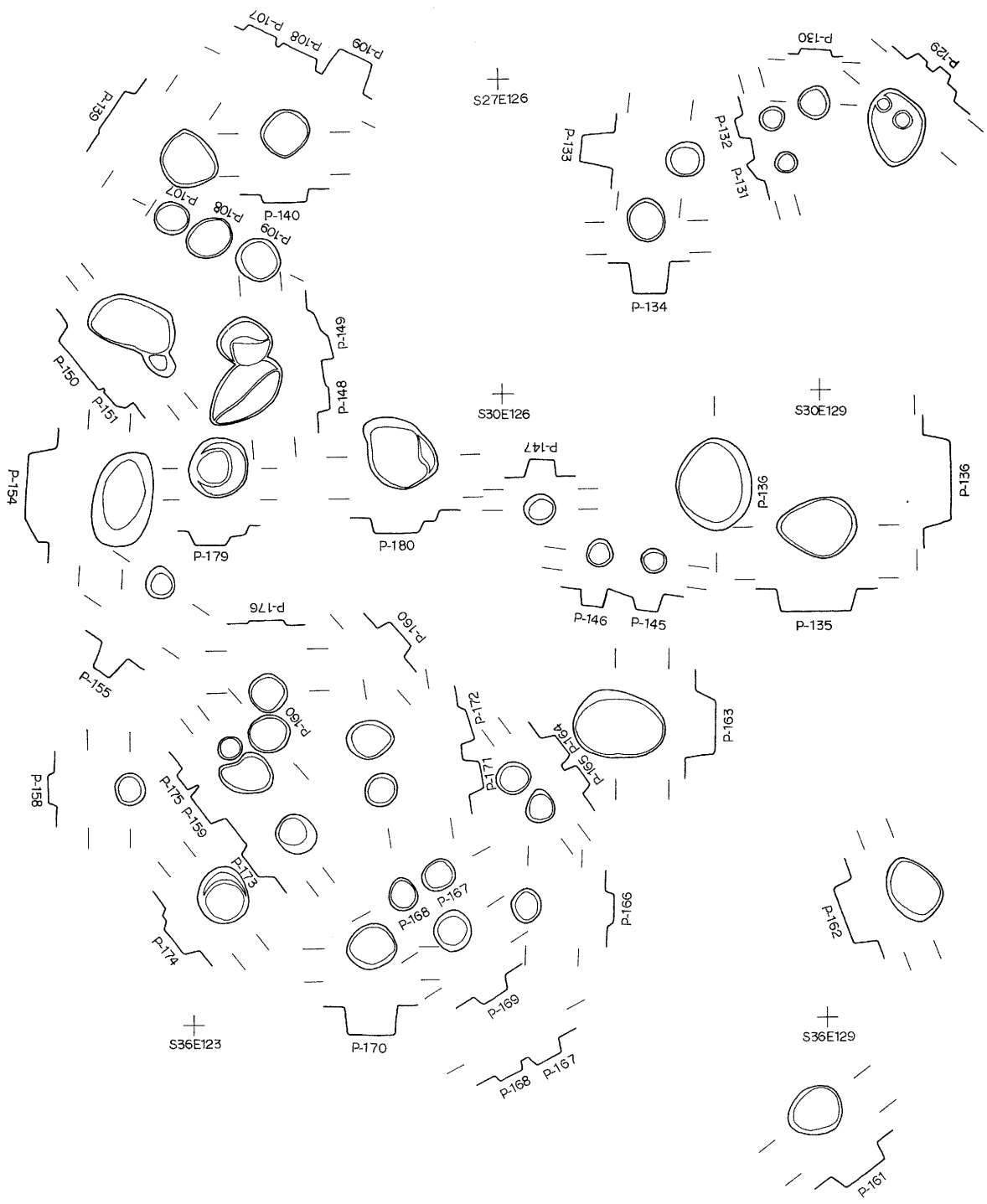
水系レベル：542.70

第15図 ピット実測図(5)



水系レベル：542.40

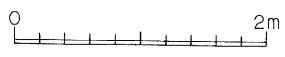
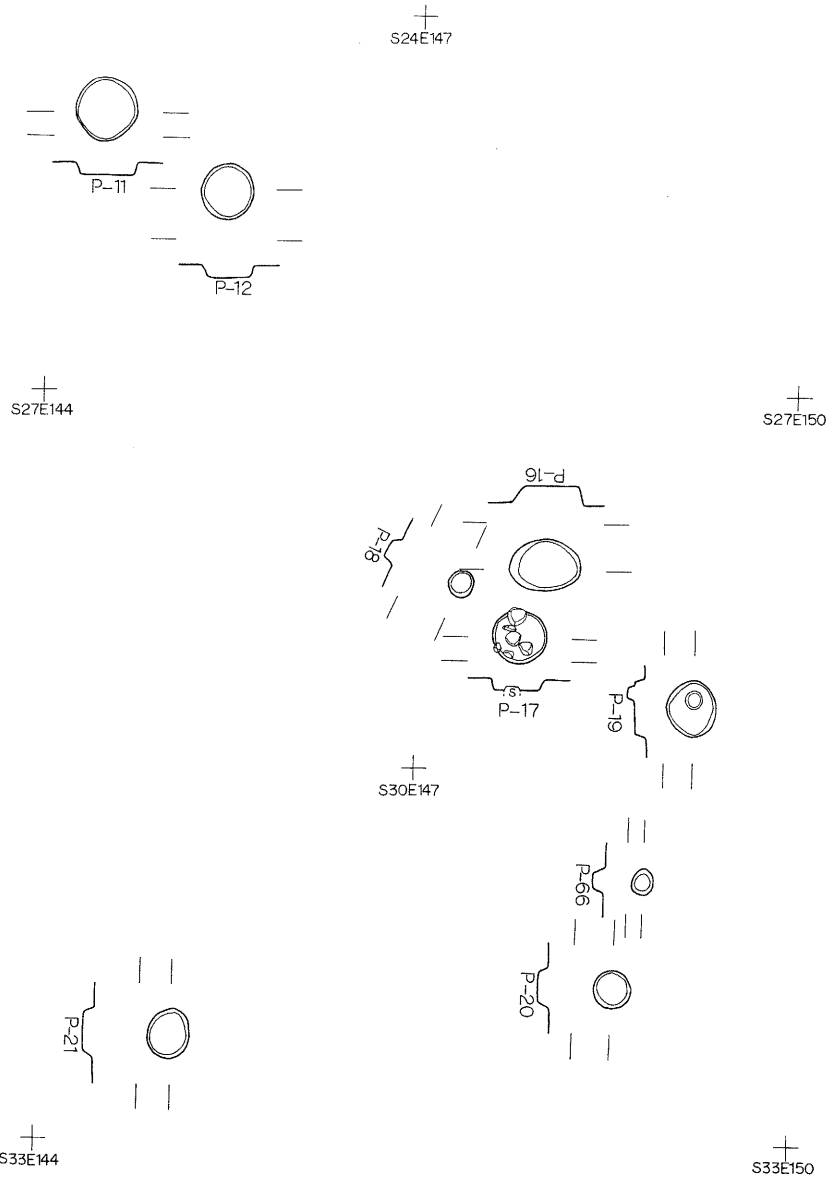
第16図 ピット実測図(6)



水系レベル：542.10

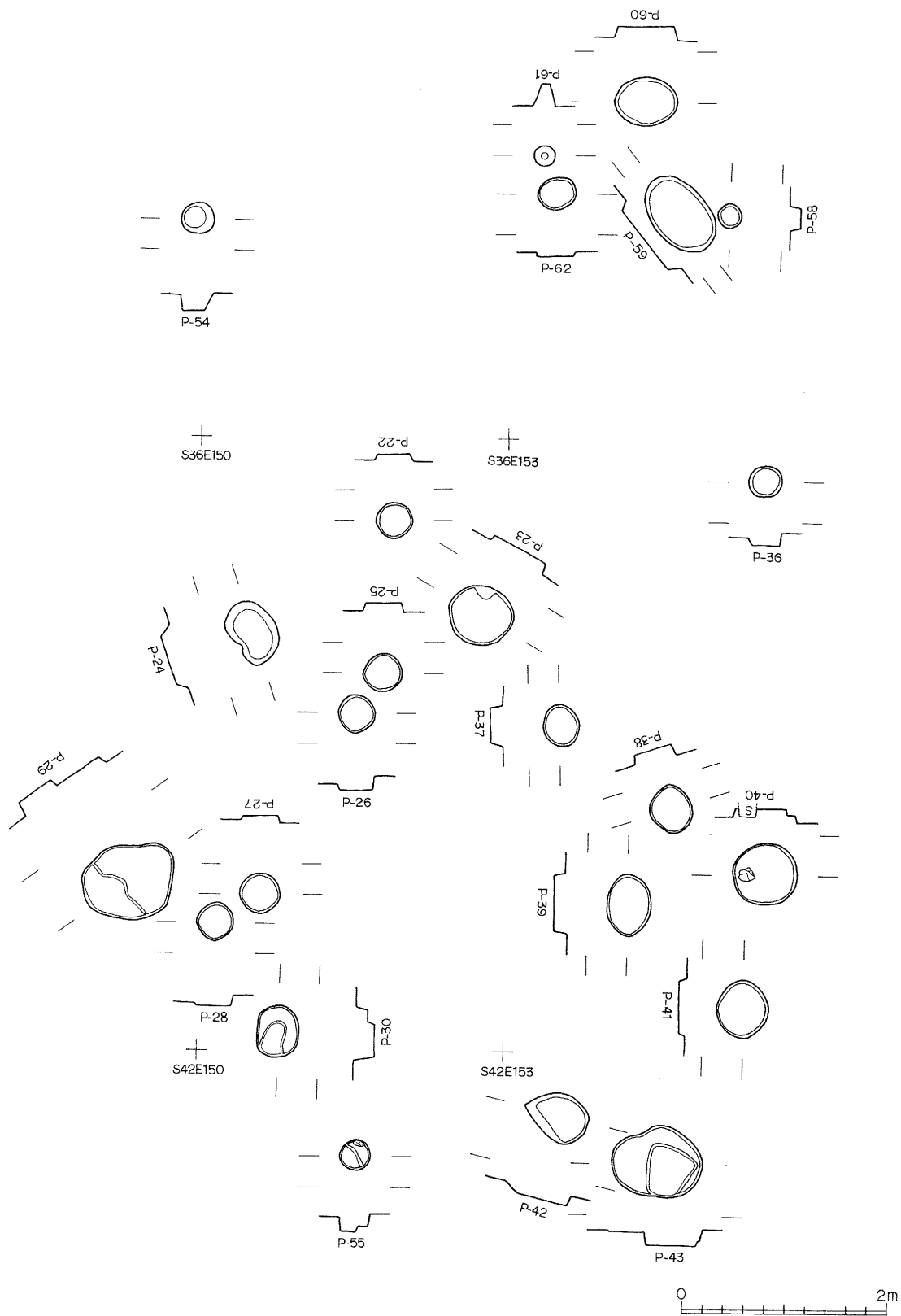


第17図 ピット実測図 (7)



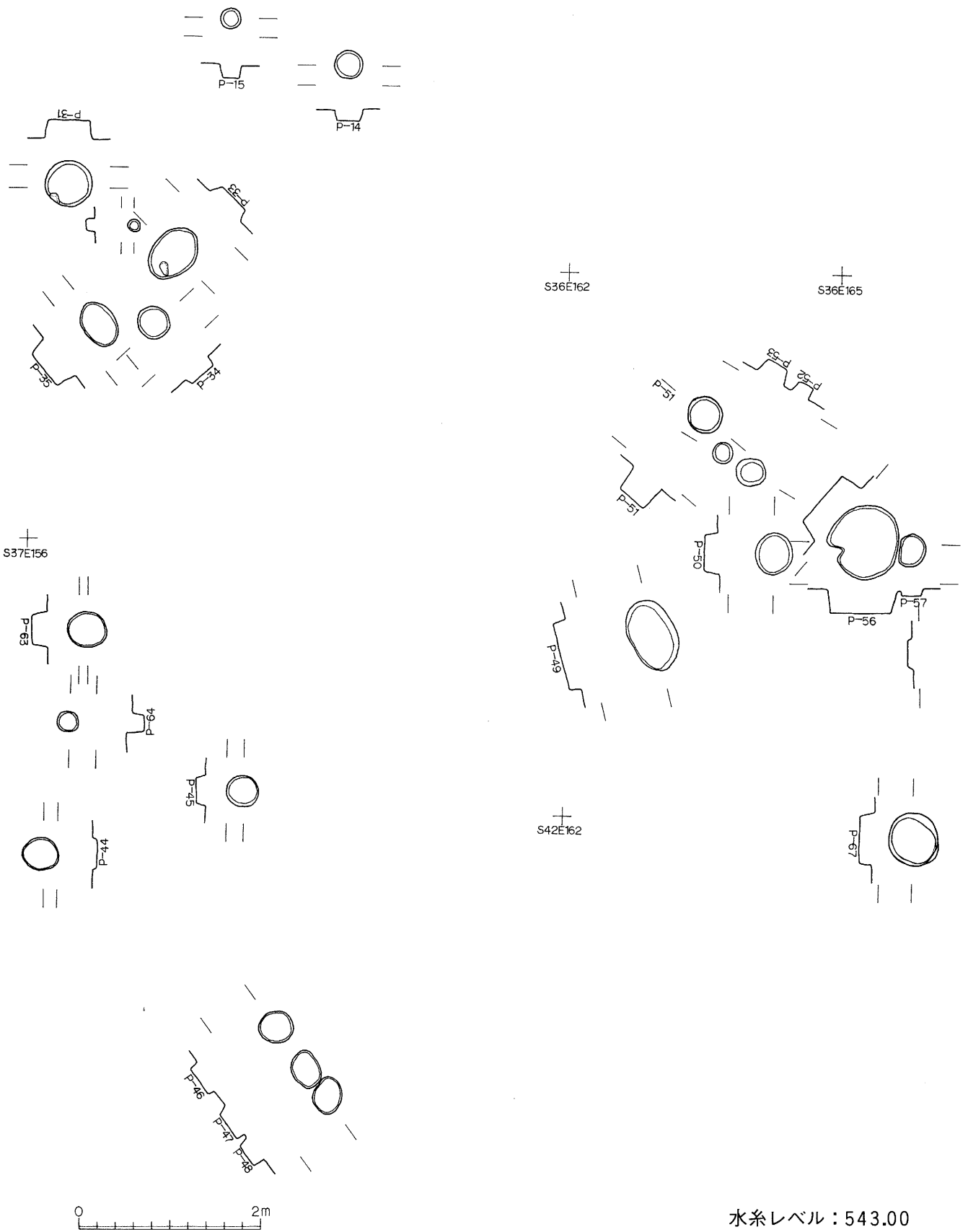
水系レベル：542.50

第18図 ピット実測図(8)



水系レベル：542.70

第19図 ピット実測図 (9)



第20図 ピット実測図 (10)

遺構番号	第1号掘立柱建物跡		遺構図版	第 4 図	グリッド名	
					S 4 5 E 1 2 6	
規模	桁行2間 (3.40m) × 梁行1間 (3.10m)				S 4 5 E 1 2 3	
方向	南北棟・N-10° -W				S 4 2 E 1 2 3	
柱間	桁行 1.70m 梁行 3.10m				S 4 2 E 1 2 6	
柱 穴	番号	長 径	短 径	深 さ	平 面 形	柱 の 痕 跡
	1	0.48	0.46	0.24	円形	無
	2	0.54	0.54	0.40	円形	有
	3	0.46	0.46	0.48	円形	有
	4	0.44	0.40	0.22	円形	有
	5	0.44	0.43	0.23	円形	有
	6	0.44	0.40	0.26	円形	無

第2表 掘立柱建物跡観察表

	長 径	短 径	深 さ	断 面 形	備 考
SK-01	1.52	1.16	0.18	たらい状	
SK-02	1.22	0.82	0.17	たらい状	
SK-03	1.02	0.82	0.16	たらい状	
SK-04	1.30	1.02	0.11	たらい状	
SK-05	0.96	0.66	0.09	たらい状	第23図
SK-06	0.84	0.66	0.10	たらい状	第24図
SK-07	0.80	0.78	0.19	たらい状	

第3表 土壌観察表

P-1	長	径短	径深	さ	覆 土		備 考
					土 層 の 色	土 質	
2	0.48	0.44	0.49	7.5 YR 3/1	黒褐	粘質土	
3	0.76	0.72	0.40	7.5 YR 4/1	褐灰	粘質土	
4	0.38	0.34	0.39	10 YR 4/3	にぶい黄褐	粘質土	
5	0.30	0.24	0.33	10 YR 3/1	黒褐	粘質土	
6	0.66	0.60	0.44	10 YR 5/6	黄褐	粘質土	
7	0.20	0.16	0.33	10 YR 4/1	褐灰	粘質土	土師器片出土
8	0.24	0.20	0.31	7.5 YR 4/1	褐灰	粘質土	
9	0.38	0.34	0.26	10 YR 3/1	黒褐	粘質土	
10	0.40	0.26	0.38	7.5 YR 4/1	褐灰	粘質土	
11	0.64	0.40	0.53	7.5 YR 2/1	黒	粘質土	第25図
12	0.48	0.48	0.11	10 YR 4/1	褐灰	シルト	
13	0.36	0.36	0.11	10 YR 3/1	褐灰	粘質土	
14	0.78	0.74	0.37	7.5 YR 4/1	黒褐	粘質土	
15	0.30	0.30	0.24	5 YR 4/1	褐灰	粘質土	
16	0.26	0.24	0.27	7.5 YR 2/1	黒	粘質土	
17	0.46	0.36	0.75	10 YR 4/2	灰黄褐	粘質土	
18	0.40	0.40	0.07	10 YR 4/1	褐灰	粘質土	
19	0.08	0.08	0.85	10 YR 4/1	褐灰	粘質土	
20	0.40	0.36	0.13	7.5 YR 5/1	褐灰	粘質土	
21	0.24	0.24	0.65	10 YR 2/1	黒	粘質土	
22	0.36	0.28	0.52	7.5 YR 3/3	暗褐	粘質土	
23	0.36	0.34	0.05	7.5 YR 3/3	暗褐	シルト	土師器片出土
24	0.63	0.58	0.11	7.5 YR 4/4	褐	シルト	土師器片出土
25	0.64	0.38	0.11	7.5 YR 4/2	灰褐	シルト	
26	0.40	0.38	0.05	7.5 YR 4/4	褐	シルト	
27	0.36	0.36	0.07	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
28	0.39	0.39	0.03	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
29	0.39	0.38	0.02	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
30	0.95	0.40	0.17	7.5 YR 2/1	黒	シルト	土師器片出土
31	0.50	0.42	0.20	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	土師器片出土
32	0.52	0.52	0.36	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	土師器片出土
33	0.16	0.16	0.15	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	
34	0.64	0.46	0.18	7.5 YR 3/4	暗褐	シルト	土師器片出土
35	0.52	0.36	0.20	7.5 YR 3/3	暗褐	シルト	
36	0.36	0.30	0.10	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	
37	0.32	0.32	0.08	7.5 YR 2/2	黒褐	シルト	
38	0.40	0.36	0.12	7.5 YR 4/4	褐	シルト	
39	0.46	0.41	0.10	7.5 YR 3/3	暗褐	シルト	土師器片出土
40	0.60	0.43	0.10	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
41	0.62	0.60	0.15	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	土師器片出土
42	0.56	0.52	0.07	7.5 YR 4/2	灰褐	シルト	
43	0.66	0.46	0.09	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	
44	0.90	0.58	0.16	7.5 YR 4/2	灰褐	シルト	
45	0.40	0.36	0.90	7.5 YR 4/3	褐	シルト	
46	0.38	0.34	0.15	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
47	0.38	0.34	0.20	7.5 YR 4/3	褐	シルト	
48	0.40	0.60	0.34	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
49	0.44	0.32	0.23	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
50	0.80	0.50	0.26	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	
51	0.46	0.40	0.31	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	
52	0.40	0.40	0.56	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
53	0.40	0.40	0.28	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
54	0.34	0.30	0.34	7.5 YR 4/2	灰褐	シルト	
55	0.32	0.30	0.15	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
56	0.30	0.30	0.18	7.5 YR 2/1	黒	シルト	
57	0.40	0.39	0.56	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	土師器片出土

第4表 ピット観察表 (1)

	長	径短	径	深	さ	覆 土		備 考
						土 層 の 色	土 質	
57		0.36	0.30	0.06	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
58		0.24	0.22	0.10	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
59		0.73	0.35	0.09	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	
60		0.62	0.48	0.11	7.5 YR 2/1	黒	シルト	
61		0.20	0.20	0.23	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
62		0.38	0.33	0.06	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
63		0.44	0.40	0.35	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
64		0.24	0.20	0.29	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
65		0.42	0.36	0.43	7.5 YR 4/3	褐	シルト	
66		0.28	0.24	0.20	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
67		0.58	0.34	0.26	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
68		0.40	0.38	0.08	7.5 YR 4/2	灰褐	シルト	
69		0.52	0.38	0.22	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	土師器片出土
70		0.44	0.26	0.06	7.5 YR 4/2	灰褐	シルト	
71		0.26	0.26	0.06	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
72		0.69	0.64	0.33	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
73		0.62	0.44	0.20	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	土師器片出土
74		0.42	0.40	0.04	7.5 YR 4/3	褐	シルト	
75		0.47	0.40	0.11	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
76		1.14	0.70	0.25	7.5 YR 4/4	褐	シルト	土師器片出土
77		0.42	0.30	0.05	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
78		0.38	0.30	0.06	7.5 YR 4/1	灰褐	シルト	
79		0.56	0.52	0.27	7.5 YR 2/1	黒	シルト	土師器片出土
80		0.74	0.60	0.34	7.5 YR 4/1	灰褐	シルト	
81		0.34	0.30	0.03	7.5 YR 4/1	灰褐	シルト	
82		0.42	0.34	0.06	7.5 YR 4/3	褐	シルト	
83		0.60	0.54	0.33	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	
84		0.64	0.47	0.09	7.5 YR 3/3	暗褐	シルト	
85		0.84	0.42	0.07	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	土師器片出土
86		0.30	0.28	0.09	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
87		0.81	0.46	0.15	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	
88		0.32	0.32	0.23	7.5 YR 2/2	黒褐	シルト	
89		0.54	0.44	0.20	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	
90		0.76	0.36	0.46	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
91		0.30	0.20	0.44	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
92		0.42	0.38	0.35	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
93		0.58	0.36	0.43	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	
94		0.27	0.20	0.32	7.5 YR 3/3	暗褐	シルト	
95		0.32	0.26	0.35	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
96		0.88	0.56	0.43	7.5 YR 3/2	黒褐	シルト	土師器片出土
97		0.48	0.34	0.18	7.5 YR 4/2	灰褐	シルト	
98		0.62	0.54	0.33	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
99		0.32	0.27	0.19	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	土師器片出土
100		0.33	0.32	0.20	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
101		0.50	0.38	0.08	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
102		0.70	0.54	0.10	7.5 YR 3/3	暗褐	シルト	土師器片出土
103		0.50	0.48	0.11	7.5 YR 2/2	黒褐	シルト	
104		0.46	0.26	0.31	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
105		0.32	0.26	0.03	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
106		0.70	0.48		7.5 YR 4/3	褐	シルト	
107		0.34	0.32	0.08	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
108		0.46	0.38	0.05	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
109		0.42	0.40	0.29	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
110		0.84	0.78	0.38	7.5 YR 2/1	黒	シルト	
111		0.34	0.26	0.06	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	
112		0.50	0.38	0.10	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	

第5表 ピット観察表 (2)

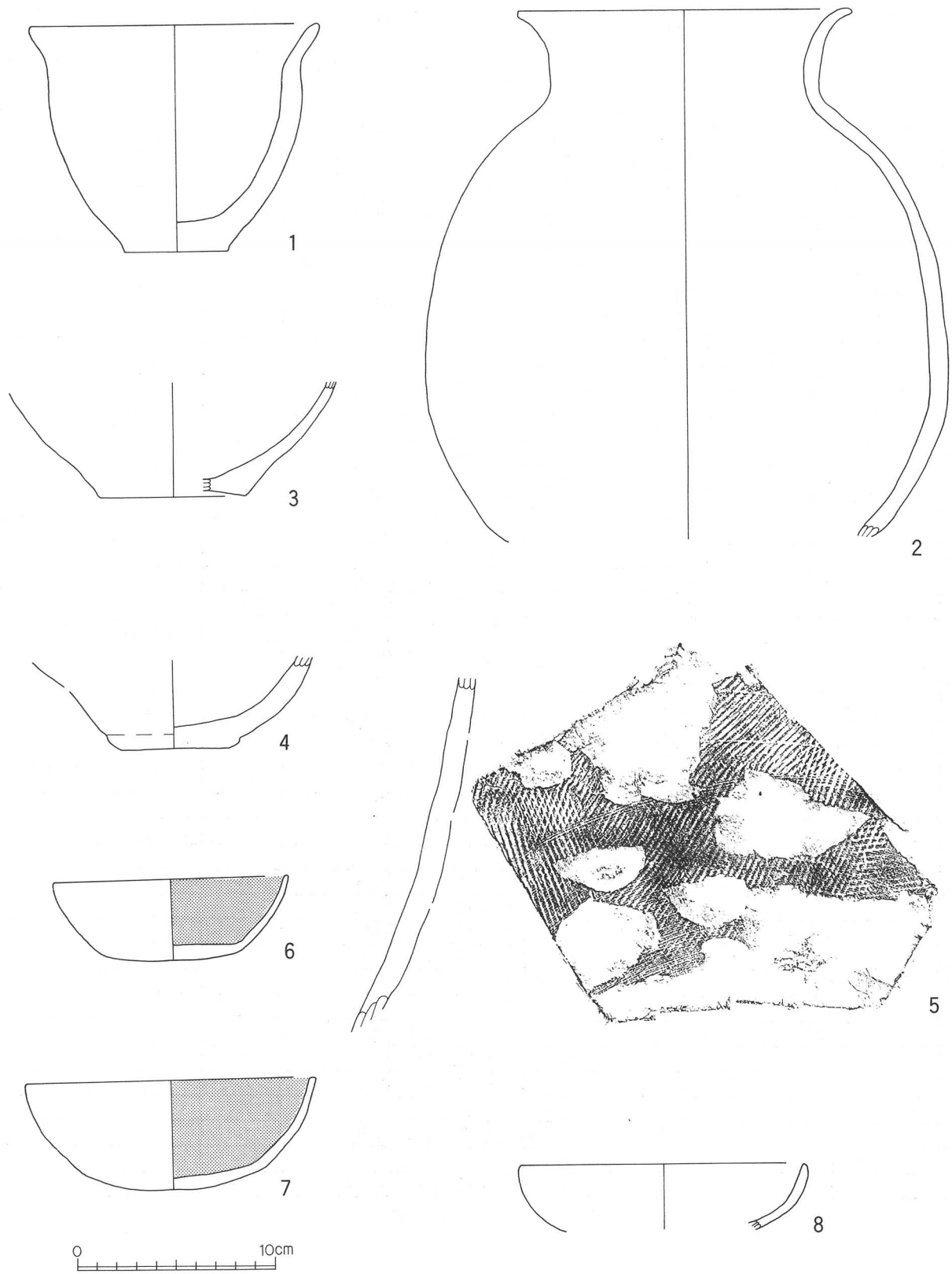
No.	長	径	短	径	深	さ	覆 土		備 考
							土 層 の 色	土 質	
113		0.56		0.50		0.11	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
114		0.38		0.36		0.11	7.5 YR 3/3 暗褐	シルト	土師器片出土
115		0.59		0.39		0.08	7.5 YR 4/3 褐	シルト	土師器片出土
116		0.38		0.36		0.06	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
117		0.62		0.52		0.26	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	土師器片出土
118		0.74		0.52		0.19	7.5 YR 3/4 暗褐	シルト	
119		0.70		0.62		0.31	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
120		0.34		0.26		0.06	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
121		0.86		0.66		0.30	7.5 YR 2/1 黒	シルト	土師器片出土
122		0.74		0.66		0.32	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	土師器片出土
123		0.44		0.40		0.13	7.5 YR 3/2 黒褐	シルト	
124		0.70		0.52		0.09	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	土師器片出土
125		0.90		0.70		0.20	7.5 YR 2/1 黒	シルト	土師器片出土
126		0.70		0.28		0.17	7.5 YR 3/3 暗褐	シルト	
127		0.42		0.41		0.14	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
128		0.38		0.37		0.18	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
129		0.74		0.54		0.17	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
130		0.34		0.32		0.05	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
131		0.20		0.20		0.07	7.5 YR 5/1 褐灰	シルト	
132		0.26		0.22		0.09	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
133		0.37		0.34		0.30	7.5 YR 4/4 褐	シルト	
134		0.40		0.38		0.31	7.5 YR 3/2 黒褐	シルト	土師器片出土
135		0.76		0.58		0.21	7.5 YR 3/3 暗褐	シルト	第26図
136		0.88		0.72		0.25	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	土師器片出土
137		0.33		0.30		0.06	7.5 YR 4/4 褐	シルト	
138		0.18		0.16		0.05	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
139		0.56		0.54		0.04	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
140		0.48		0.46		0.09	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
141		0.30		0.26		0.05	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
142		0.64		0.51		0.13	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
143		0.75		0.46		0.22	7.5 YR 4/4 褐	シルト	
144		0.58		0.44		0.14	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
145		0.24		0.22		0.11	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
146		0.28		0.26		0.12	7.5 YR 2/2 黒褐	シルト	土師器片出土
147		0.30		0.28		0.16	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
148		0.84		0.50		0.14	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
149		0.53		0.46		0.21	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
150		0.80		0.50		0.15	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
151		0.26		0.22		0.15	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
152		0.44		0.38		0.16	7.5 YR 2/1 黒	シルト	
153		0.74		0.60		0.18	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	土師器片出土
154		0.90		0.55		0.24	7.5 YR 3/2 黒褐	シルト	
155		0.30		0.28		0.23	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
156		1.00		0.30		0.42	7.5 YR 3/3 暗褐	シルト	土師器片出土
157		0.36		0.34		0.24	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
158		0.31		0.28		0.07	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
159		0.52		0.40		0.15	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
160		0.39		0.38		0.13	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
161		0.54		0.46		0.16	7.5 YR 5/1 褐灰	シルト	
162		0.66		0.48		0.20	7.5 YR 3/1 黒褐	シルト	
163		0.88		0.64		0.20	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
164		0.32		0.32		0.12	7.5 YR 5/1 褐灰	シルト	
165		0.32		0.28		0.12	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
166		0.34		0.28		0.07	7.5 YR 4/1 褐灰	シルト	
167		0.32		0.28		0.11	7.5 YR 5/1 褐灰	シルト	
168		0.32		0.28		0.07	7.5 YR 5/2 灰褐	シルト	

第6表 ピット観察表(3)

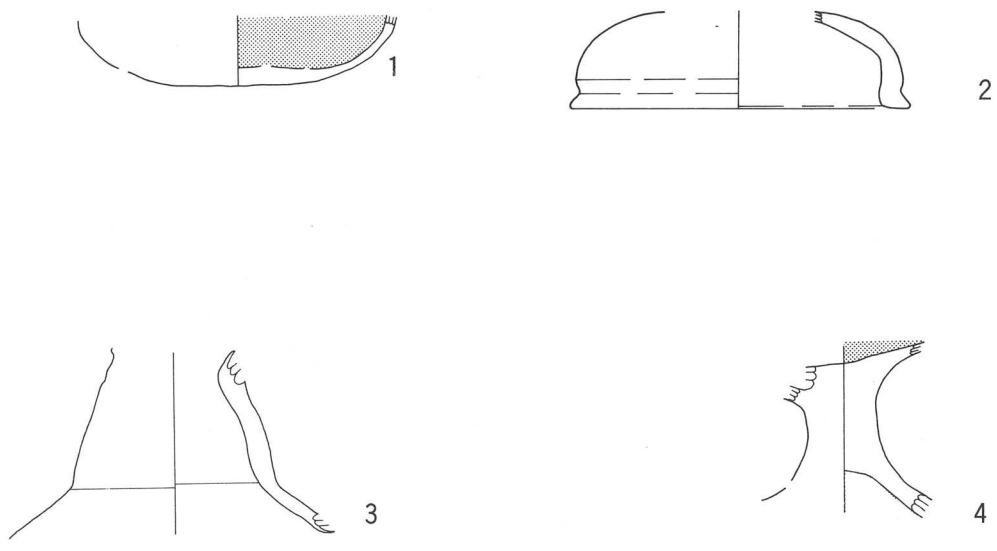
No.	長	径短	径深	さ	覆土		備考
					土層の色	土質	
169	0.40	0.36	0.12	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	
170	0.50	0.46	0.27	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
171	0.30	0.30	0.15	7.5 YR 2/1	黒	シルト	
172	0.44	0.38	0.12	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
173	0.40	0.36	0.12	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
174	0.52	0.50	0.15	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
175	0.24	0.23	0.85	7.5 YR 2/1	黒	シルト	
176	0.38	0.36	0.03	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	
177	1.14	0.88	0.47	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	土師器片出土
178	0.56	0.34	0.13	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
179	0.58	0.56	0.19	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
180	0.79	0.60	0.22	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	土師器片出土
181	0.24	0.24	0.06	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
182	0.42	0.40	0.13	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	
183	0.32	0.31	0.10	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
184	0.40	0.40	0.11	7.5 YR 6/1	褐灰	シルト	
185	0.38	0.34	0.16	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	
186	0.34	0.32	0.07	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
187	0.48	0.39	0.09	7.5 YR 6/1	褐灰	シルト	
188	0.54	0.48	0.10	7.5 YR 5/2	灰褐	シルト	
189	0.48	0.42	0.23	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
190	0.54	0.50	0.25	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	土師器片出土
191	0.44	0.42	0.09	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	
192	0.24	0.20	0.05	7.5 YR 6/1	褐灰	シルト	
193	0.52	0.46	0.18	7.5 YR 3/3	暗褐	シルト	
194	0.50	0.48	0.10	7.5 YR 5/1	暗褐	シルト	
195	0.66	0.62	0.18	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
196	0.96	0.40	0.18	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	土師器片出土
198	0.48	0.30	0.13	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
199	0.60	0.54	0.09	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
200	0.62	0.58	0.09	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	土師器片出土
201	0.46	0.42	0.09	7.5 YR 4/1	褐灰	粘質土	
202	0.63	0.60	0.11	7.5 YR 4/3	褐	シルト	
203	0.24	0.22	0.24	7.5 YR 2/1	黒	シルト	
204	0.28	0.14	0.25	7.5 YR 2/1	黒	シルト	
205	1.24	0.63	0.30	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	第27図
206	0.66	0.40	0.13	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
207	0.56	0.38	0.15	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
208	0.64	0.55	0.12	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
209	0.16	0.14	0.34	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	
210	0.24	0.20	0.37	7.5 YR 5/1	褐灰	シルト	
211	0.26	0.22	0.39	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
212	0.32	0.28	0.35	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
213	0.28	0.30	0.16	7.5 YR 4/3	褐	シルト	
214	0.34	0.30	0.15	7.5 YR 4/3	褐	シルト	
215	0.66	0.50	0.29	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
216		0.38	0.47	7.5 YR 4/1	褐灰	シルト	
217	0.46	0.44	0.14	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	
218	0.66	0.59	0.24	7.5 YR 2/1	黒	シルト	
219	0.60	0.54	0.18	7.5 YR 3/1	黒褐	シルト	

第7表 ピット観察表(4)

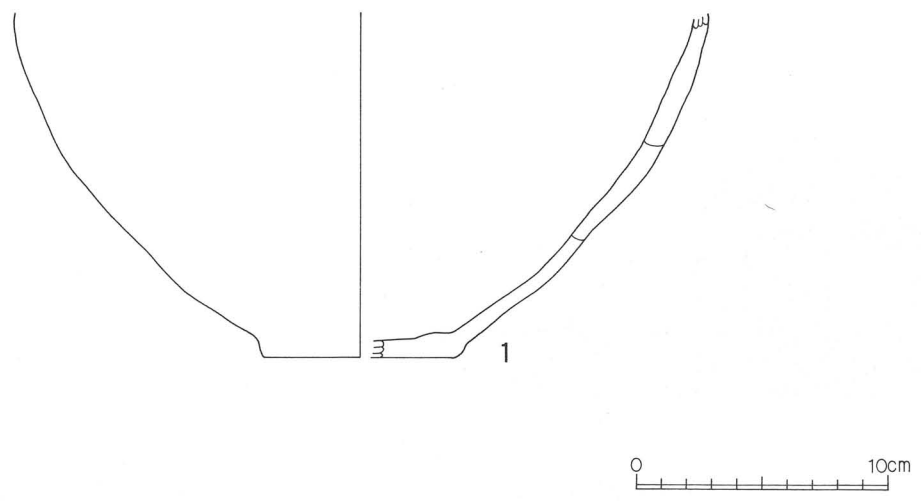
第3節 遺物実測図



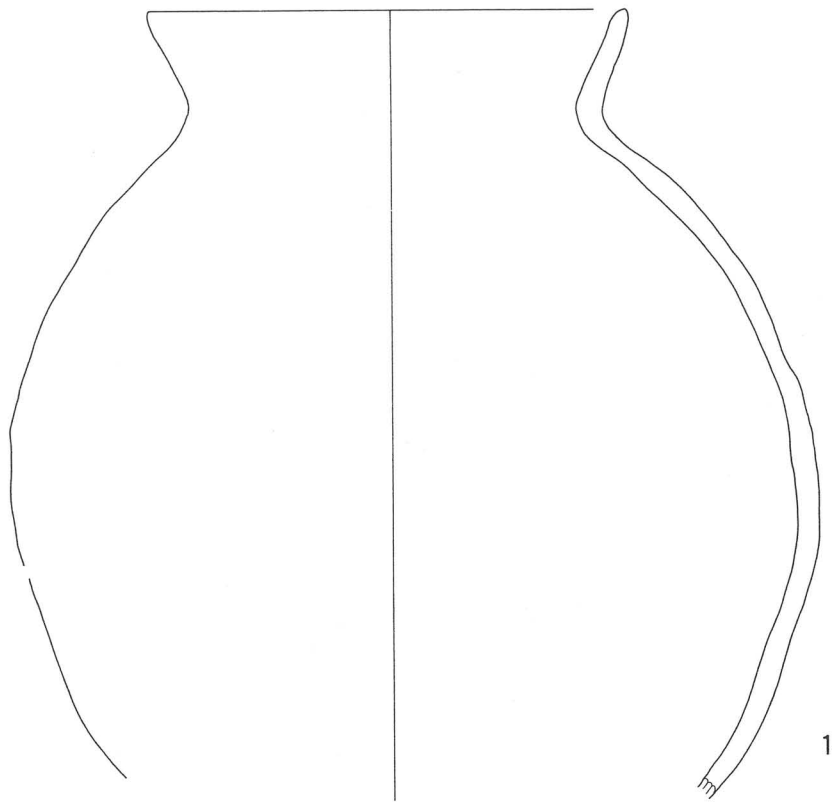
第21図 第1号溝跡遺物実測図(1)



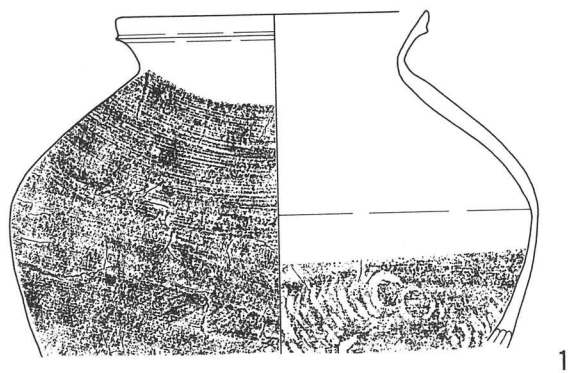
第22图 第1号沟迹遗物实测图(2)



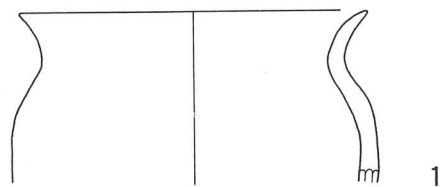
第23图 第5号土壤遗物实测图



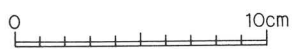
第24図 第6号土壙遺物実測図

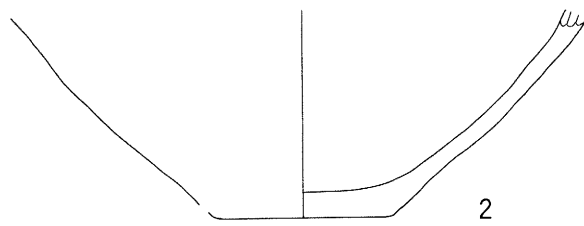
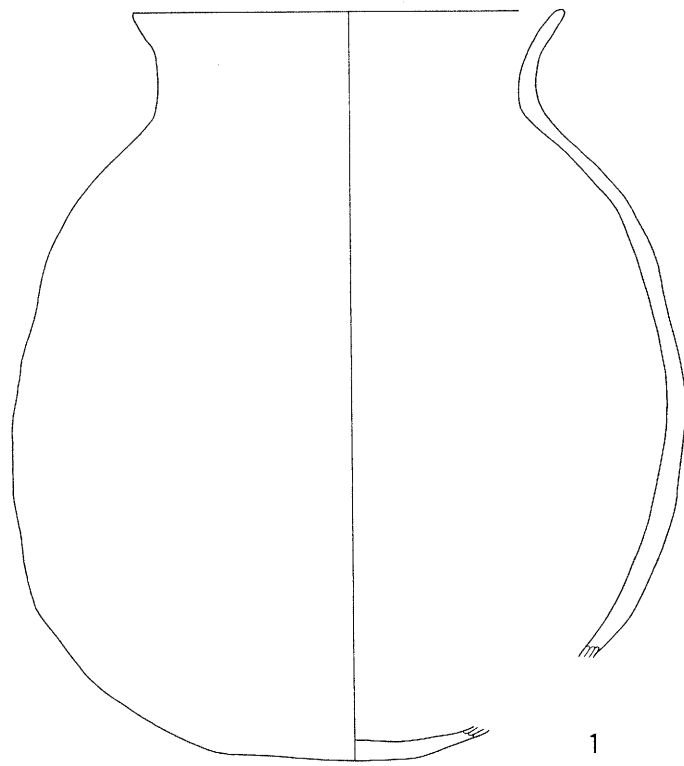


第25図 第10号ピット遺物実測図

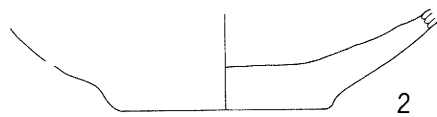
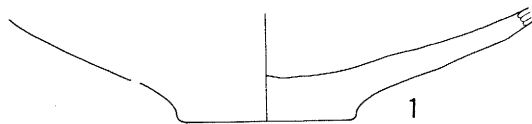


第26図 第135号ピット遺物実測図

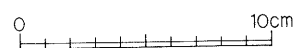




第27図 第205号ピット遺物実測図



第28図 遺構外遺物実測図



遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
1号溝跡 第21図-1	甕 土師	14.2 11.5 5.1 底部完胴口1/2	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)5YR7/4にぶい橙	平底より内弯して立ち 上がり口縁部で外反す る	(外) (内)
1号溝跡 第21図-2	甕 土師	16.8 26.8 — 胴部口縁部1/3	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)7.5YR6/4にぶい橙	胴部は球状を呈し、頸 部で屈曲して外反する	(外) (内)
1号溝跡 第21図-3	甕 土師	— 5.7 7.6 底部体部一部	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)7.5YR6/6橙~7.5YR7/4にぶい橙	上げ底気味の底部よ り、内弯気味に開く	(外)撫で (内)篋削り
1号溝跡 第21図-4	甕 土師	— 4.5 5.2 底部のみ	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/4にぶい橙 (内)7.5YR6/6橙	平底	(外) (内)
1号溝跡 第21図-5	甕 須恵	— 17.9 — 胴部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5Y7/1灰白 (内)7.5Y7/1灰白	平底	(外)叩きによる平行文 (内)横位の撫で
1号溝跡 第21図-6	坏 土師	11.8 3.8 6.6 底部完体口1/2	胎;礫含む 焼;良好 色;(外)10YR6/1褐灰~ 2.5YR5/1黄灰 (内)黒	丸底気味の底部より、 内弯気味に立ち上 がり、口縁部に至る	(外) (内)口縁部横位の撫で 黒色処理
1号溝跡 第21図-7	坏 土師	14.6 5.5 — 2/3	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR4/4にぶい赤褐 (内)黒	丸底より内弯して立ち 上がり、口縁部に至る	(外) (内)黒色処理
1号溝跡 第21図-8	坏 土師	14.4 3.3 — 体部口縁部一部	胎;粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6橙 (内)5YR7/6橙	口縁部内弯する	(外) (内)
1号溝跡 第22図-1	坏 土師	— 2.7 5.6 底3/4体一部	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR8/4浅黄橙 (内)黒	丸底気味の底部より、 内弯して立ち上がる	(外) (内)黒色処理
1号溝跡 第22図-2	坏 須恵	13.4 3.8 — 体部口縁部一部	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)N5/0灰 (内)N5/0灰	口縁部屈曲外反する。 口唇部面取りを施す	(外) (内)
1号溝跡 第22図-3	高坏 土師	— 7.3 — 脚部一部	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/3にぶい橙 (内)7.5YR7/4にぶい橙	脚部上部で張りを持 ち、裾部は屈曲して開 く	(外) (内)
1号溝跡 第22図-4	高坏 土師	— 6.8 — 接合部のみ	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい橙 (内)黒	接合部	(外)篋削り (内)坏部黒色処理
5号土壌 第23図-1	坏 土師	— 13.7 7.6 底部1/3体一部	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/4にぶい橙~ 10YR7/3黒褐 (内)5YR6/6橙	平底より内弯気味に立 ち上がり開く 粘土帯積上げ	(外)篋削り後撫で (内)篋削り
6号土壌 第24図-1	甕 土師	19.3 31.5 — 体部口縁部完存	胎;粗砂粒・細砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR7/8橙~10YR2/1黒 (内)5YR7/4にぶい橙	胴部は球状を呈し、口 縁部僅かに内弯する	(外) (内)
1号ピット 第25図-1	甕 須恵	12.2 13.5 — 胴部口縁部一部	胎;礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)N6/0灰 (内)N6/0灰	胴部上部で張りを持 ち、頸部で屈曲外反す る。 口唇部面取りを施す	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で 胴部同心円状の叩き目

第8表 遺物観察表(1)

遺構 No. 図版 No.	器種 種類	法 量	器 質	成形・形態・文様ほか	整 形 ほ か
135号ピット 第26図-1	甕 土師	17.8 6.8 — 胴部口縁部一部	胎;石英・雲母・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)2.5YR5/6明赤褐 (内)2.5YR5/6明赤褐	胴部で内湾し、口縁部 で外反する	(外) (内)篋削り後撫で
205号ピット 第27図-1	甕 土師	—	胎;石英・雲母・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR6/4にぶい 橙~5YR6/4にぶい 赤褐 (内)5YR6/4にぶい 橙~10YR7/3にぶい 黄橙	丸底より球形の胴部に 至り、頸部で屈曲外反 して、口縁部に至る	(外)篋削り後撫で (内)篋削り後撫で
205号ピット 第27図-2	甕 土師	— 8.2 7.0 底部完胴部一部	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)7.5YR7/4にぶい 橙~5Y3/1 オリブ黒 (内)5YR7/4にぶい 橙	平底より開く	(外) (内)
S30E126 第28図-1	甕 土師	— 4.3 7.0 底部のみ	胎;石英・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙~N3/0 暗灰 (内)7.5YR7/3にぶい 橙	平底	(外) (内)篋削り後撫で
S33E120 第28図-2	甕 土師	— 3.9 8.4 底部のみ	胎;石英・礫・粗砂粒含む 焼;良好 色;(外)5YR7/6 橙 (内)5YR6/8 橙	平底	(外) (内)

第9表 遺物観察表(2)

報 告 書 抄 録

ふりがな	にしのでいせきに						
書名	西之手遺跡Ⅱ						
副書名	市道西野竹14号線代替地取得事業に係る西之手遺跡第2次発掘調査報告書						
シリーズ名	上田市文化財調査報告書						
シリーズ番号	第69集						
編著者名	塩崎 幸夫・清水 彰						
編集機関	上田市教育委員会						
所在地	〒386-0025 長野県上田市天神二丁目4番74号 Tel0268-23-5102						
発行年月日	1998年3月31日						
所収遺跡名	所在地	市町村コード	北緯° / ′	東経° / ′	調査期間	調査面積	調査原因
西之手遺跡	上田市大字古里 字西之手	20203	36° 23′ 50″	138° 17′ 14″	1997年5月28日～ 1997年7月4日	3150㎡	宅地造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項		
西之手遺跡	集落	古墳	掘立柱建物跡 1 溝跡 6	土師器 須恵器			

写 真 图 版



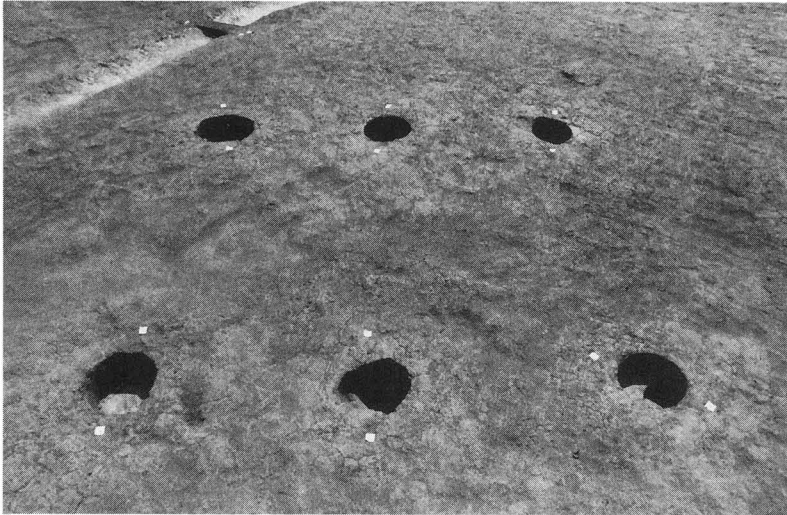
調査地区（上空から）



調査地区（南から）



調査地区（西から）



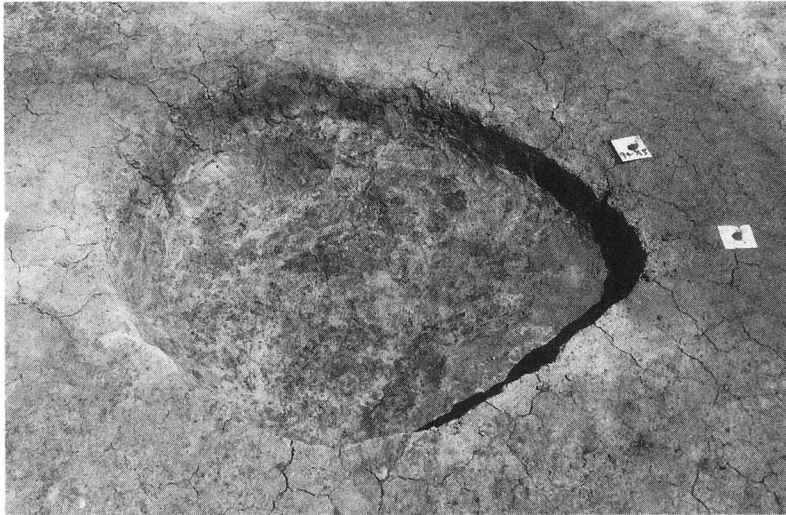
第1号掘立柱建物跡（西から）



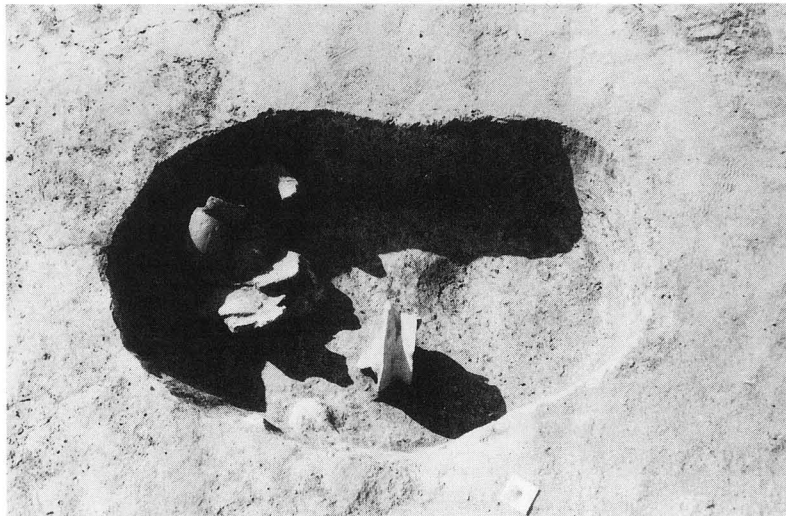
第1号溝跡（南から）



第6号土壇土器出土状況（北西から）



第6号土壇完掘状況（西から）



第205号ピット土器出土状況（南東から）



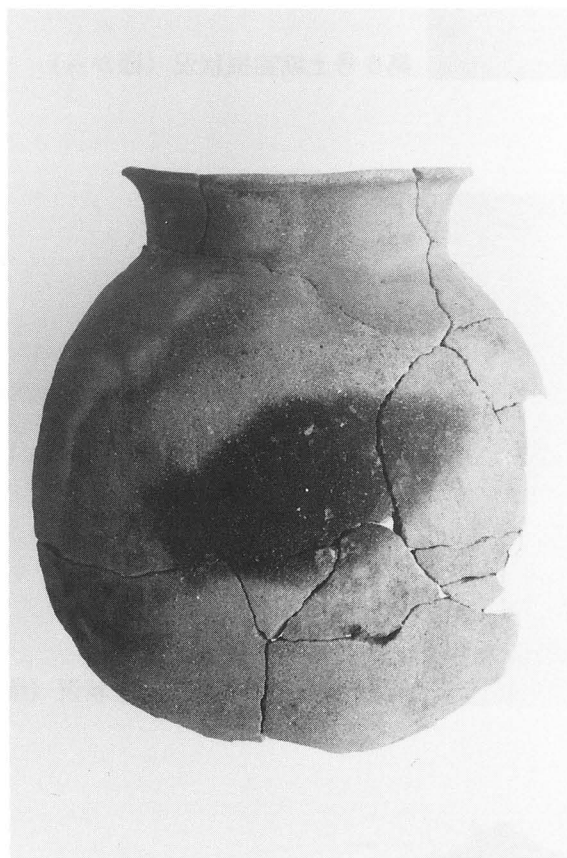
作業員の皆さん



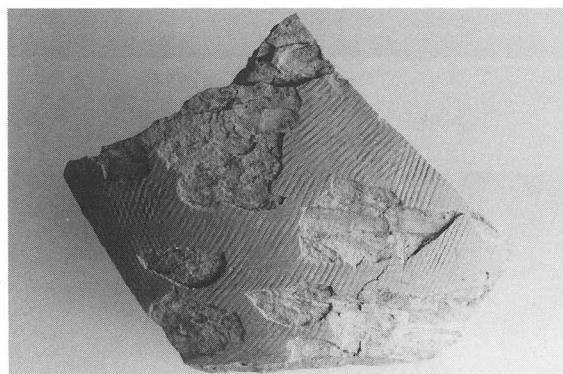
第1号沟迹 1



第1号沟迹 4



第1号沟迹 2



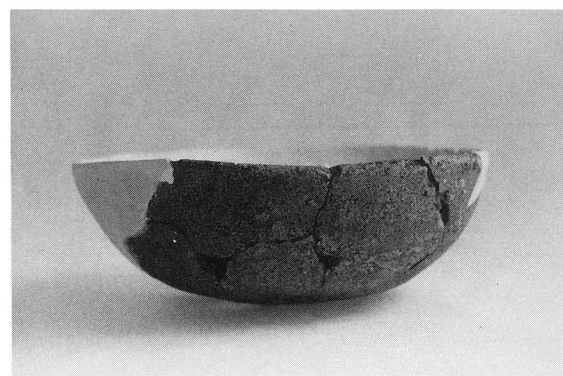
第1号沟迹 5



第1号沟迹 6



第1号沟迹 3



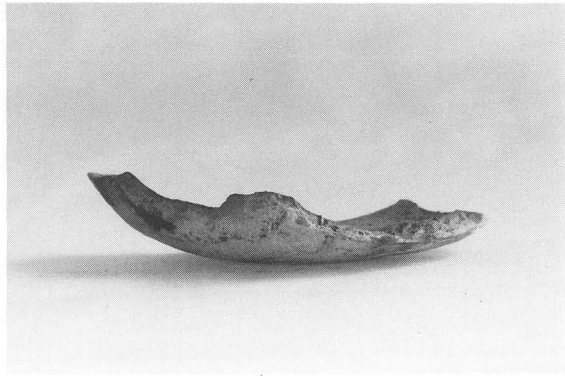
第1号沟迹 7



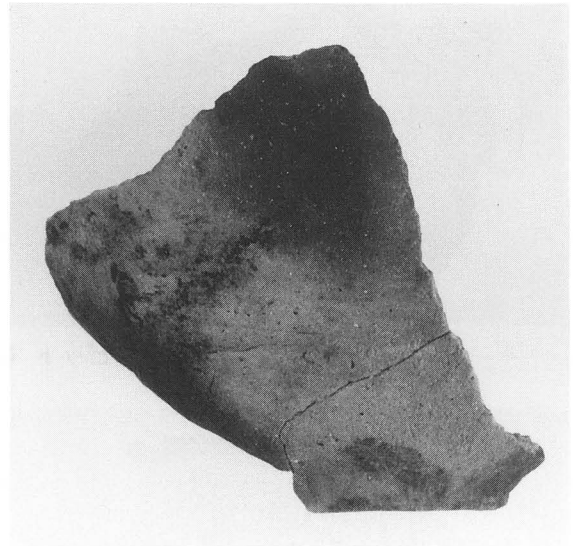
第1号溝跡 8



第1号溝跡 12



第1号溝跡 9



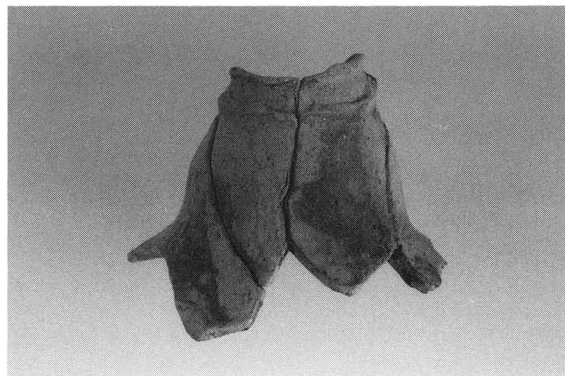
第5号土壙 1



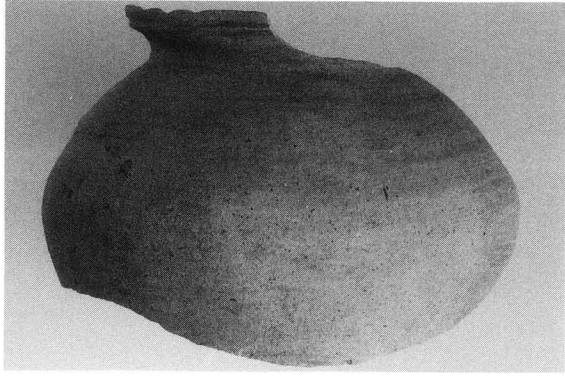
第1号溝跡 10



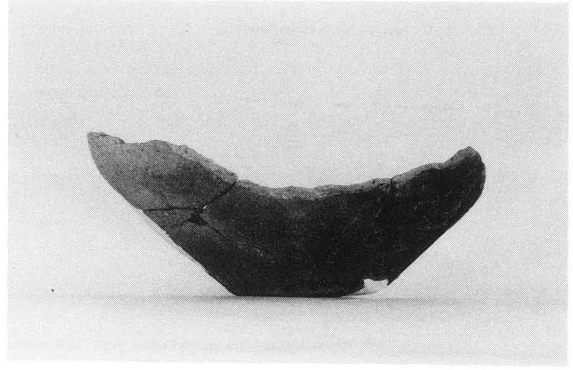
第6号土壙 1



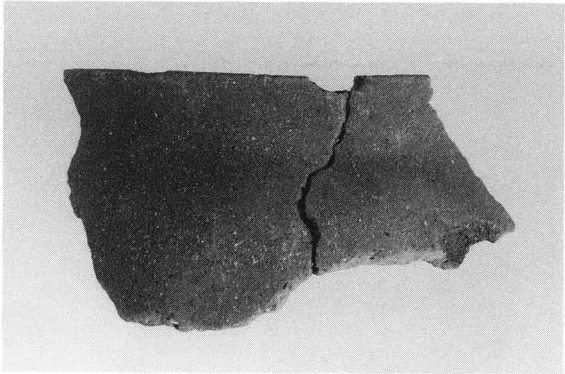
第1号溝跡 11



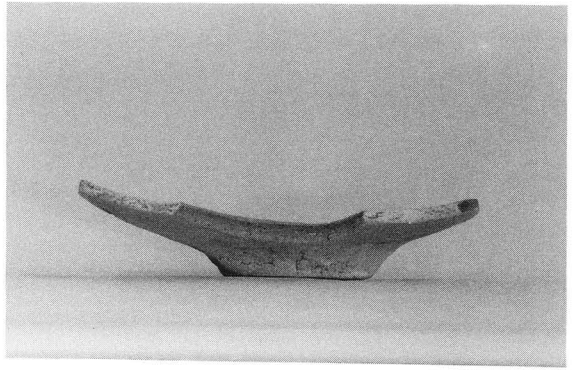
第10号ピット 1



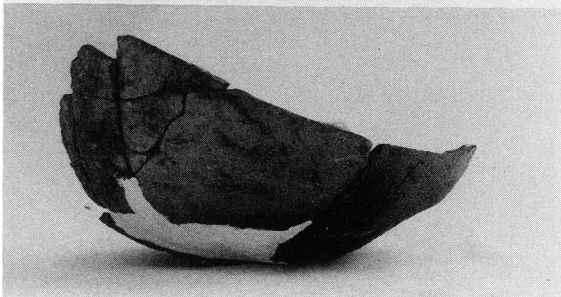
第205号ピット 2



第135号ピット 1



遺構外 1



第205号ピット 1



遺構外 2

上田市文化財調査報告書 第69集

西之手遺跡Ⅱ

市道西野竹14号線代替地取得事業に係る
西之手遺跡第2次発掘調査報告書

発行 平成10年3月31日

上田市教育委員会

上田市土地開発公社

印刷 中沢印刷株式会社